



# デジタルワイヤレス インターカムシステム

## 型名 **WD-3000シリーズ** 取扱説明書 「設置・設定編」

### お買い上げありがとうございます

お使いの前にこの「取扱説明書」をお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

## この取扱説明書の見かた

### ■ 本文中の記号の見かた



操作上の注意が書かれています。



機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。



参考ページや参照項目を示しています。

### ■ 本書の記載内容について

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部、または全部を当社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書ではTM、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。

# もくじ

□安全上のご注意 .....	5
□設置上のご注意 .....	6
設置条件 .....	6
配線ケーブル条件 .....	7
□システム構成 .....	8
システム構成図 .....	8
システム構成表 .....	9
工事手配品一覧 .....	9
□設置工事の推奨手順 .....	10
□メインコントローラーWD-M300の設置 .....	11
概要 .....	11
設置上のご注意 .....	11
インカムユニットを接続する .....	12
ケーブルの接続方法 .....	12
サブコントローラーWD-M310を接続する .....	13
公衆回線/PBXに接続する .....	14
外部機器を接続する .....	14
PA-DR600を接続する .....	15
ラックマウントする場合 .....	15
ランプ表示 .....	16
□サブコントローラーWD-M310の設置 .....	17
概要 .....	17
インカムユニットを接続する .....	18
ケーブルの接続方法 .....	19
ランプ表示 .....	19
□多機能操作器WD-MC30の設置 .....	20
概要 .....	20
設置上のご注意 .....	20
配線ケーブルを接続する .....	21
電話機を接続する .....	21
□音声入出力ユニットWD-AF30の設置 .....	22
概要 .....	22
配線ケーブルを接続する .....	22
外部音響機器を接続する .....	23
ホールマスターWT-MC60を接続する .....	24
外部機器を接続する .....	24
ラックマウントする場合 .....	25
ランプ表示 .....	26

---

□ セルステーションWD-T300の設置.....	27
概要 .....	27
設置上のご注意 .....	28
マスターセルステーションの設定.....	30
壁、天井への取り付け .....	31
ランプ表示 .....	33
□ システムデータ設定・子機登録 .....	34
準備するもの .....	34
□ システム設定の手順 .....	36
システムの電源を入れる/切る .....	37
メインコントローラーWD-M300とPCの接続.....	37
トップページ .....	39
子機登録 .....	40
システム設定 .....	46
インカム設定 .....	47
子機設定 .....	48
CS設定 .....	49
多機能操作器設定 .....	50
音声入出力ユニット設定 .....	52
放送出力設定 .....	53
外線共通設定 .....	54
外線モード動作設定 .....	55
トーン設定 .....	56
タイマー設定 .....	58
短縮番号設定 .....	59
子機一覧 .....	59
CS一覧 .....	59
多機能操作器一覧 .....	59
音声入出力ユニット一覧 .....	60
システム設定一覧 .....	60
その他 .....	60
動作の確認 .....	61
システムデータのダウンロード .....	61

## □安全上のご注意

- 電源(AC100 V)の接続には十分ご注意ください。誤った配線・接続は火災や感電の原因となります。
  - ・ 電源はAC100 Vを使用する。
  - ・ 電源ケーブルを束ねて使用しない。
  - ・ 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しないでください。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。
  - ・ 電源プラグをコンセントに接続するときは、根元まで確実に挿し込んでください。
  - ・ 機器は、コンセントの近くに設置してください。また、電源プラグが抜きやすいように設置してください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のときは、すぐに電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 落雷により不具合が発生した場合は、すみやかにビクターサービス窓口にご連絡ください。
- 電源コードや機器の配線ケーブルは、取り扱いに気をつけてください。火災や故障の原因となります。
  - ・ 上にものを乗せない。
  - ・ 傷をつけない。
  - ・ 無理に曲げない。
  - ・ 引っ張らない。
- 火気を近づけないでください。機器表面などが変形、劣化したり、故障の原因となります。
- 機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと機器内部の温度が上昇し、やけどや故障の原因となります。
- 機器の中に異物を入れないでください。火災や故障の原因となります。
- 機器を壁面に取り付けるときは、機器の質量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付けてください。強度が足りない場合、落下し、けがをすることがあります。
- 取り付けねじやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けが不十分だと落下する原因となります。確実に締め付けてください。
- 機器を壁面、天井などに取り付けるときは、機器をしっかり手で押さえ、落とさないようにご注意ください。けがや機器の故障の原因となります。
- 機器間の接続線に足などを引っかけないようにご注意ください。つまずいてけがの原因となることがあります。
- 包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息の原因となります。
- すべての工事・配線が完了したら、電源を入れる前にもう1度、すべての結線・配線・コネクターが確実に接続できているか、また、極性、配線間違いがないか確かめてください。予期せぬ事故を未然に防げます。

## □ 設置上のご注意

- 設置工事は、必ず電源を切った状態で行なってください。
- 付属品、または専用品以外を接続しないでください。故障、誤動作の原因となります。
- 水のかかる場所(屋外、浴室など)や湿気の多い場所に設置しないでください。感電や故障の原因となります。
- ほこりや振動の多いところに設置しないでください。故障や破損の原因となります。
- 直射日光、暖房設備、ボイラーなど特に温度の上がる場所に設置しないでください。機器表面などが変形、劣化したり、故障の原因となります。
- 硫化水素の発生する場所に設置しないでください。故障や機器の寿命が短くなる原因となります。

## 設置条件

各機器の設置条件、使用環境条件は、つぎのとおりです。

機器の名前	使用温度範囲	各機器共通条件
メインコントローラー WD-M300	0℃～40℃	<ul style="list-style-type: none"> <li>湿度：20%～80% RH (つゆつきなし)</li> <li>急激な温度、湿度の変化がないこと</li> <li>換気のよい場所</li> <li>高周波ミシン、電気溶接機から離れた場所</li> <li>コンピューター、OA機器から離れた場所</li> <li>ラジオ、テレビ、無線機器から離れた場所</li> <li>医療用機器から離れた場所</li> <li>動力線から離れた場所</li> <li>ノイズ源となるような機器から離れた場所</li> <li>直射日光の当たらない場所</li> <li>通行の妨げにならない場所</li> <li>雨水のかからない場所</li> <li>金属粉、塵埃の少ない場所</li> <li>振動、騒音の少ない場所</li> <li>油、化学薬品などの化学変化の影響を受けにくい場所</li> </ul>
サブコントローラー WD-M310	0℃～40℃	
多機能操作器 WD-MC30	0℃～40℃	
音声入出力ユニット WD-AF30	0℃～40℃	
セルステーション WD-T300	-10℃～50℃	
ポータブルトランシーバー WD-TR200	0℃～40℃	
ワイヤレストランシーバー WD-WT20	0℃～40℃	
チャージャー WD-C11、WD-C12	5℃～35℃	

## 配線ケーブル条件

メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310と各インカムユニット間の配線ケーブルは、2芯のツイストペア線を使用してください。

下記のケーブル、または、同等品を使用してください。

- 富士電線株式会社 電子ボタン電話デジタル伝送用ケーブル ICT

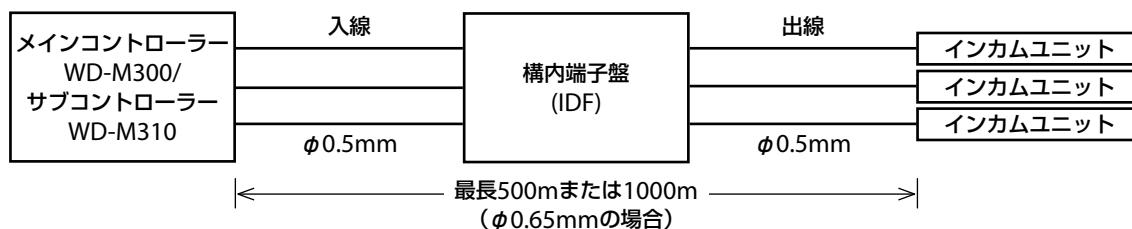
メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310と各インカムユニット間の配線ケーブルの仕様と配線距離は、次のとおりです。

インカムユニット	配線ケーブル仕様	配線距離	
		線径	最大配線距離
多機能操作器 WD-MC30	2 芯 ( 1 P )	φ 0.5mm	300m
		φ 0.65mm	500m
音声入出力ユニット WD-AF30		φ 0.5mm	300m
		φ 0.65mm	500m
セルステーション WD-T300		φ 0.5mm	600m
		φ 0.65mm	1000m

## ■ 構内端子盤で中継する場合

配線ケーブルを構内端子盤(IDF)などで中継する場合は、入線、出線とも同じ線径としてください。

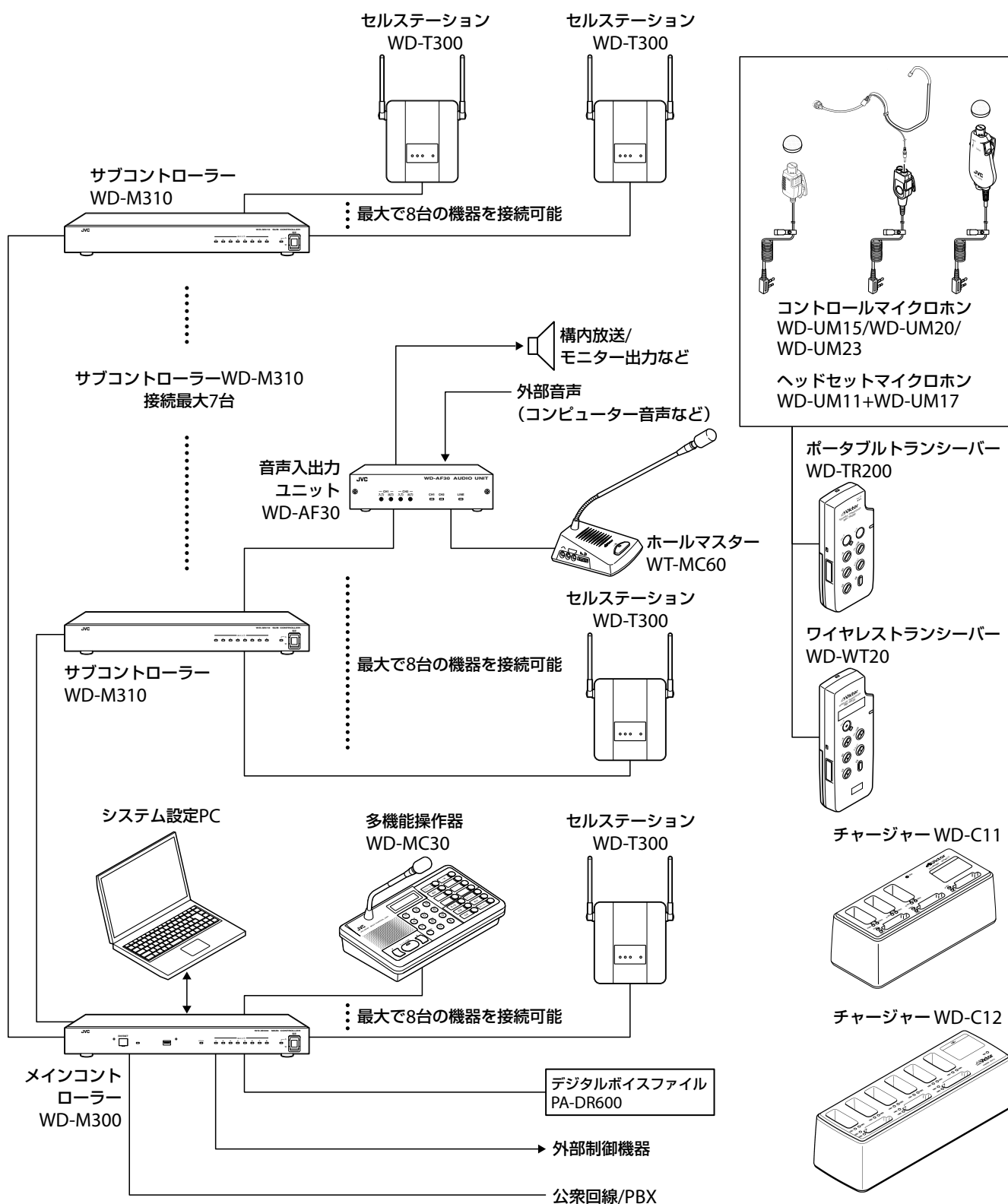
例. 入線φ0.5mmの場合は、出線もφ0.5mmとする



- 配線ケーブルは、動力機器等の電源ケーブルと一緒に束ねたり、平行して這わせないようにしてください。通話にノイズが入ったり、誤作動の原因となることがあります。

## □システム構成

### システム構成図





## システム構成表

No.	機種名	商品名
1	WD-M300	メインコントローラー
2	WD-M310	サブコントローラー
3	WD-MC30	多機能操作器
4	WD-AF30	音声入出力ユニット
5	WD-T300	セルステーション
6	WD-TR200	ポータブルトランシーバー
7	WD-WT20	ワイヤレストランシーバー
8	WD-UM11	コントロールユニット
9	WD-UM15	コントロールマイクロホン
10	WD-UM17	ヘッドセットマイクロホン
11	WD-UM20	コントロールマイクロホン(WD-WT20専用)
12	WD-UM23	コントロールマイクロホン(WD-WT20専用)
13	WD-C11	チャージャー
14	WD-C12	チャージャー
15	WT-MC60	ホールマスター
16	PS-RU11	ラックマウント金具
17	WDZU30BJ	WD-AF30用ラックマウント金具(幹旋品)



ポータブルトランシーバーWD-TR200は(C)タイプを使用してください。

## 工事手配品一覧

工事手配品	工事内容	参照ページ
配線用ケーブル	ケーブル配線	7ページ
テレホンモジュラーコード (6極2芯または6極4芯)	公衆回線/PBXの接続	14ページ
RS-232Cストレートケーブル	PA-DR600の接続	15ページ
Φ6.3フォンプラグ	音声入出力ユニットの接続	23ページ
オーディオ用ケーブル	音声入出力ユニットの接続	24ページ
ねじまたは木ねじ2本(M4×25)程度	セルステーション壁・天井取り付け	31ページ
防水シール	セルステーション防水処理	31ページ
木ねじ1本(径寸任意)	セルステーション天井取り付け	33ページ

## □ 設置工事の推奨手順

設置工事の標準的な手順を示します。  
次の**1～11**のステップを参考に進めてください。

### 設置工事開始

ステップ 1	システム構成および構成品の確認	8ページ
ステップ 2	機器の設置場所の確認	6ページ
ステップ 3	電源ケーブル、配線ケーブルのルート確認	7ページ
ステップ 4	ケーブルの敷設工事	
ステップ 5	メインコントローラー WD-M300の設置	11ページ
ステップ 6	サブコントローラー WD-M310の設置	17ページ
ステップ 7	インカムユニットの設置	
	多機能操作器 WD-MC30	20ページ
	音声入出力ユニット WD-AF30	22ページ
	セルステーション WD-T300	27ページ
ステップ 8	インカムユニットへのケーブル接続	
	多機能操作器 WD-MC30	20ページ
	音声入出力ユニット WD-AF30	22ページ
	セルステーション WD-T300	27ページ
ステップ 9	配線ケーブルチェック	
ステップ 10	システムデータの設定	36ページ
ステップ 11	システムの動作確認	61ページ

システムデータの設定は36ページ「システム設定の手順」に従ってください。

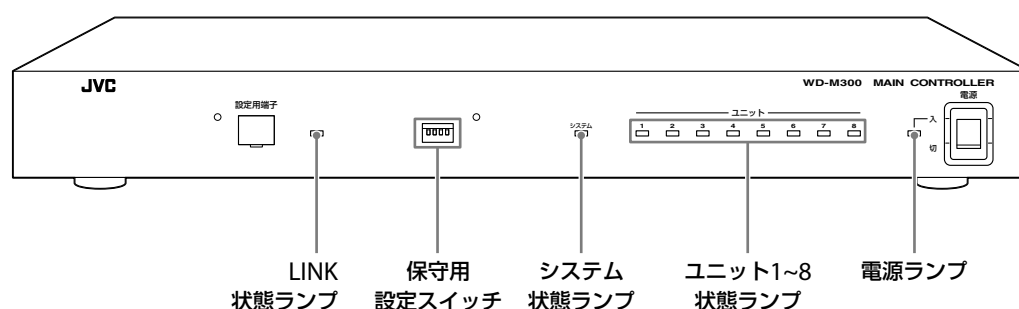
### 設置工事終了

## □メインコントローラーWD-M300の設置

### 概要

- 本システム全体の制御を行います。
- インカムユニット(WD-MC30、WD-AF30、WD-T300)、サブコントローラーWD-M310、電話回線を接続します。
- 外部機器の制御を行う接点端子、外部の音源装置を起動するシリアルデータ出力端子を有します。

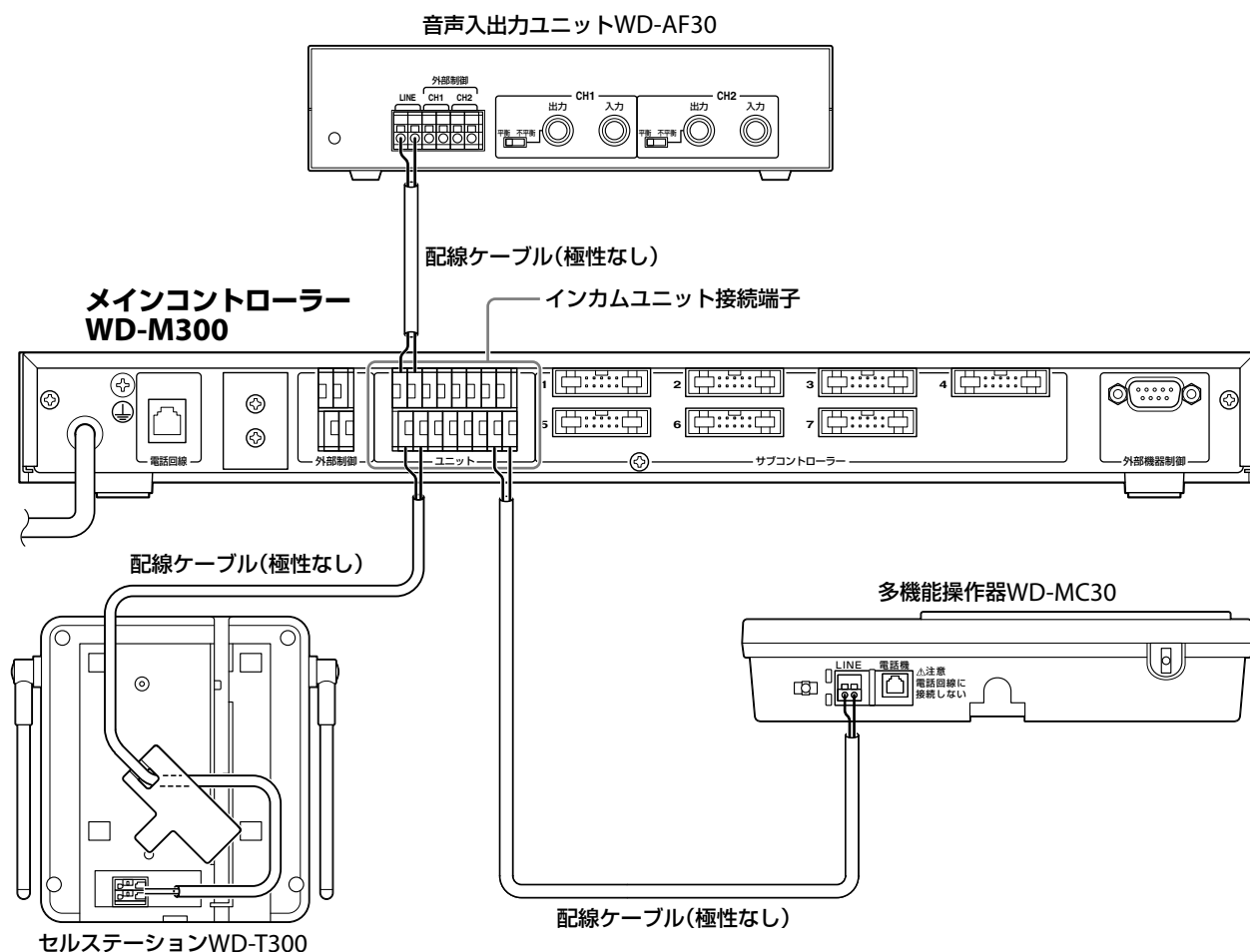
### ■外観図



### 設置上のご注意

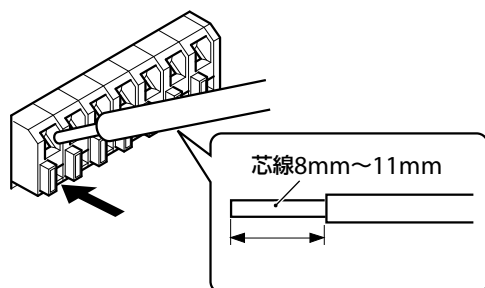
- 電源プラグは、必ずアース付のコンセントに挿し込んでください。
- メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310を棚などに積み重ねて設置する場合は、4段までとし、メインコントローラーWD-M300を最上段にしてください。上側、左右は10センチほど空け、上に物などを載せないでください。
- ラックマウントする場合は、2段ごとに1ユニット分空けてマウントしてください。また、最下段、最上段も1ユニット分空けてください。
- 配線ケーブル、電源ライン等からのノイズが通話に入る場合は、メインコントローラーWD-M300とサブコントローラーWD-M310の背面の接地端子を最短で接続してください。

## インカムユニットを接続する



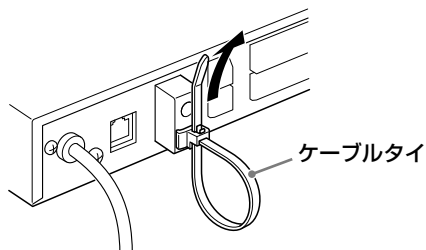
多機能操作器WD-MC30、音声入出力ユニットWD-AF30、セルステーションWD-T300を接続します。  
 接続できるインカムユニットの台数は合計で8台です。  
 接続するインカムユニット接続端子に指定はありません。どの端子にも接続できます。  
 配線ケーブルについては、7ページの「配線ケーブル条件」をご覧ください。

## ケーブルの接続方法



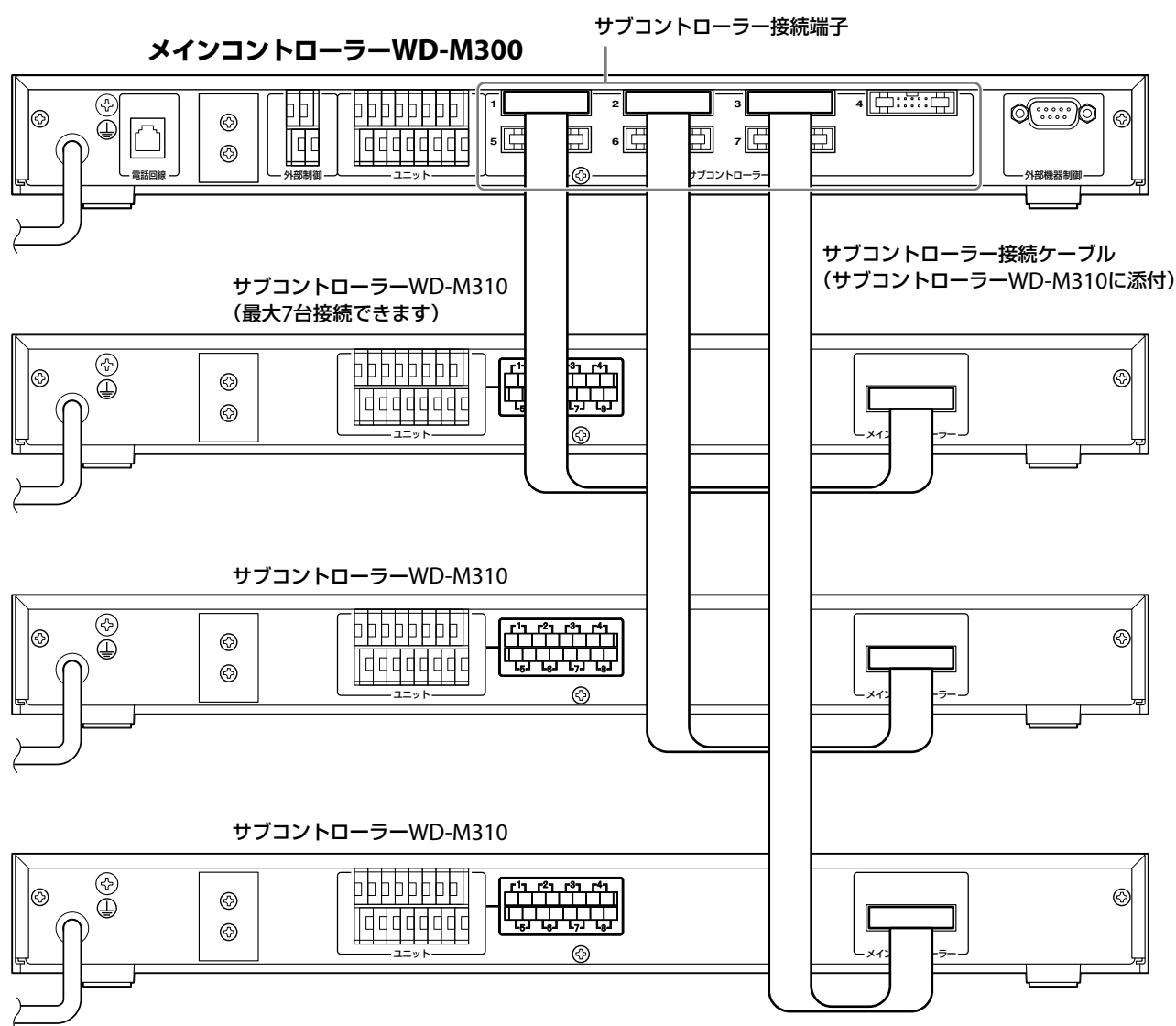
- 1 ケーブルの被ふくを8mm~11mmむく
- 2 左図の矢印部をドライバーなどで押して芯線を端子穴の奥までまっすぐに差し込む
- 3 ケーブルを引っぱって抜けないことを確かめる

ケーブルをはずす場合はマイナスドライバーなどで矢印部を押し、ケーブルを引き抜きます。



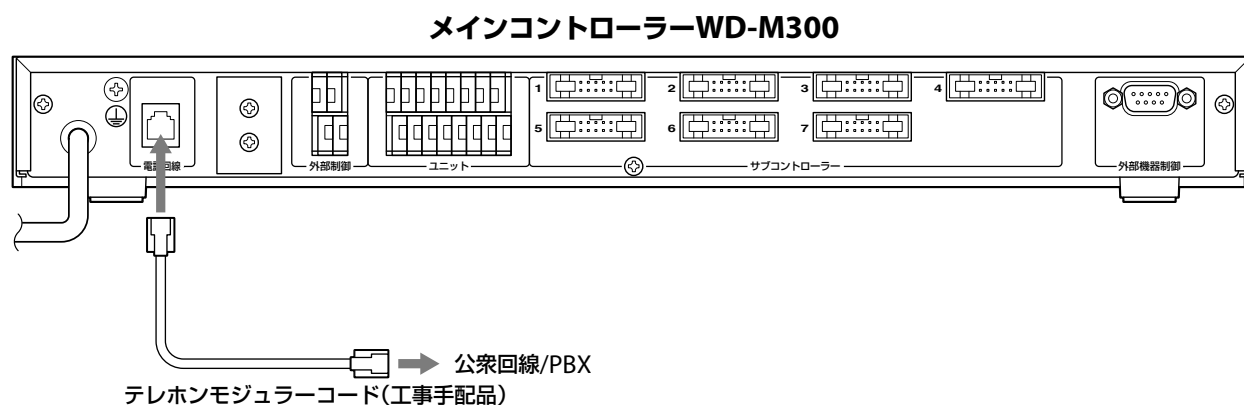
すべての接続が終わったら、本体(WD-M300)に添付のケーブルタイを取り付け、ケーブルをまとめてください。

## サブコントローラーWD-M310を接続する



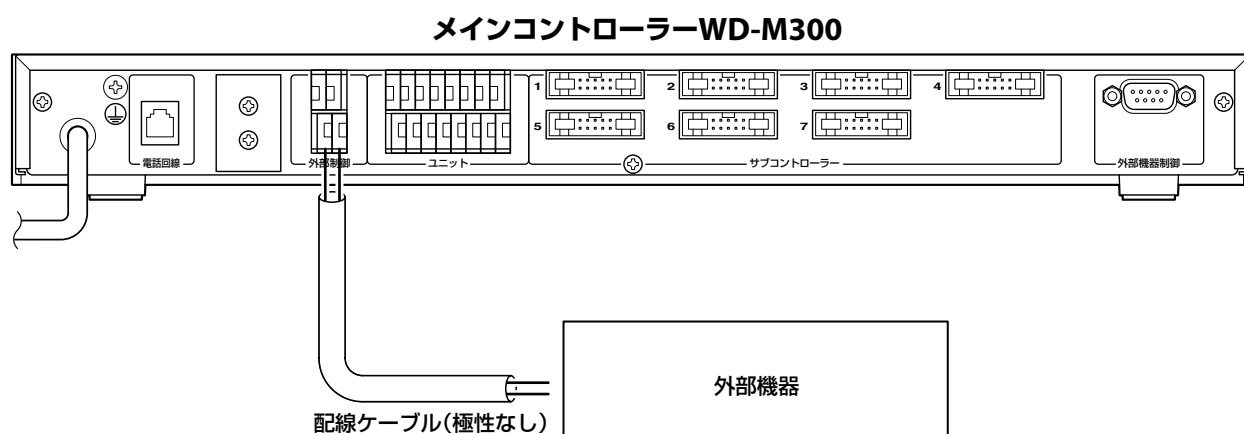
接続するインカムユニットの台数が8台を超えるときは、サブコントローラーWD-M310を接続します。  
 接続するときは、必ずWD-M310に添付のサブコントローラー接続ケーブルを使用してください。  
 接続できるサブコントローラーWD-M310は最大7台です。

## 公衆回線/PBXに接続する



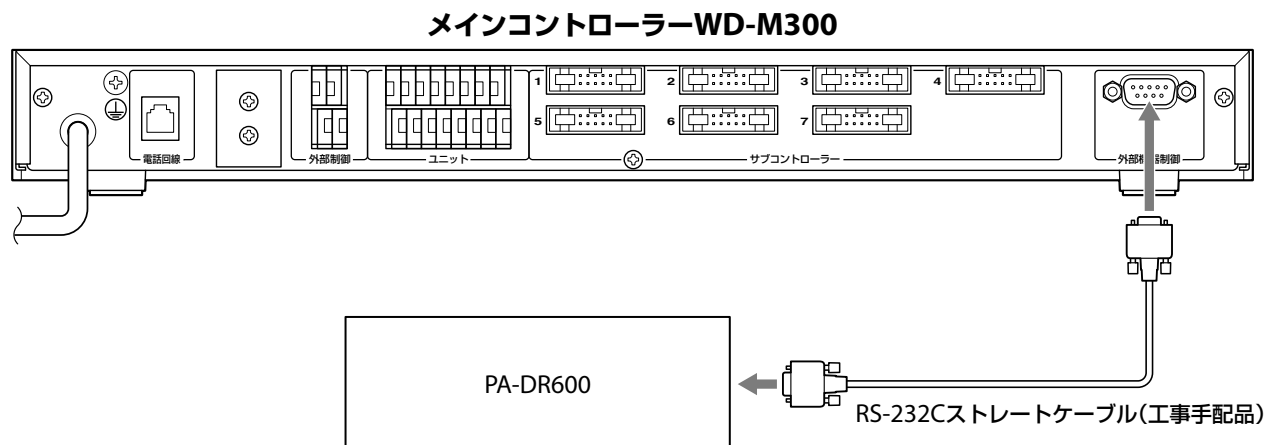
公衆回線、PBXともにアナログ回線のみ接続できます。  
デジタル回線、光回線は接続できません。

## 外部機器を接続する

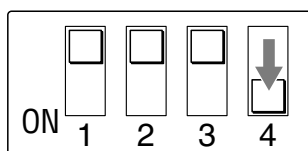


制御する外部機器のリモート端子等に接続します。  
外部制御の端子はリレー接点(メーク/ブレイク選択可)で接点の容量はDC24V 1Aです。

## PA-DR600を接続する

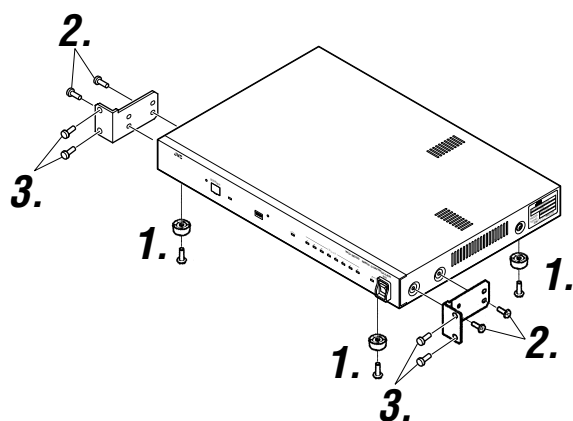


PA-DR600を接続する場合は、メインコントローラーWD-M300の正面の保守用設定スイッチのスイッチ4をONにします。



## ラックマウントする場合

ラックに取り付ける場合、別売のラックマウント金具PS-RU11を用いて取り付けます。



### 1 フットをはずす

メインコントローラーWD-M300のフット (4か所) をはずします。

### 2 ブラケットを取り付ける

メインコントローラーWD-M300の左右に付いているねじを各2本はずし、ラックマウント金具に添付のねじ (M4各2本) でブラケットを取り付けます。

### 3 EIAラックに取り付ける

ラックマウント金具に添付のねじ (M5各2本) で、メインコントローラーWD-M300をラックに取り付けます。

## ランプ表示

ランプの名前	表示状態	表示内容	備考
電源	消灯	電源OFF	
	点灯	電源ON	
システム	消灯	システム起動中	
	点滅	異常	
	点灯	正常動作中	
ユニット1～8	消灯	ユニット未接続	システム起動中は消灯
	遅い点滅	ユニット起動中	1秒間に1回点灯
	速い点滅	異常	1秒間に2回点灯
	点灯	正常動作中	
LINK	消灯	PC未接続	結線不良、通信不良
	点灯	PC接続	



## □サブコントローラーWD-M310の設置

### 概要

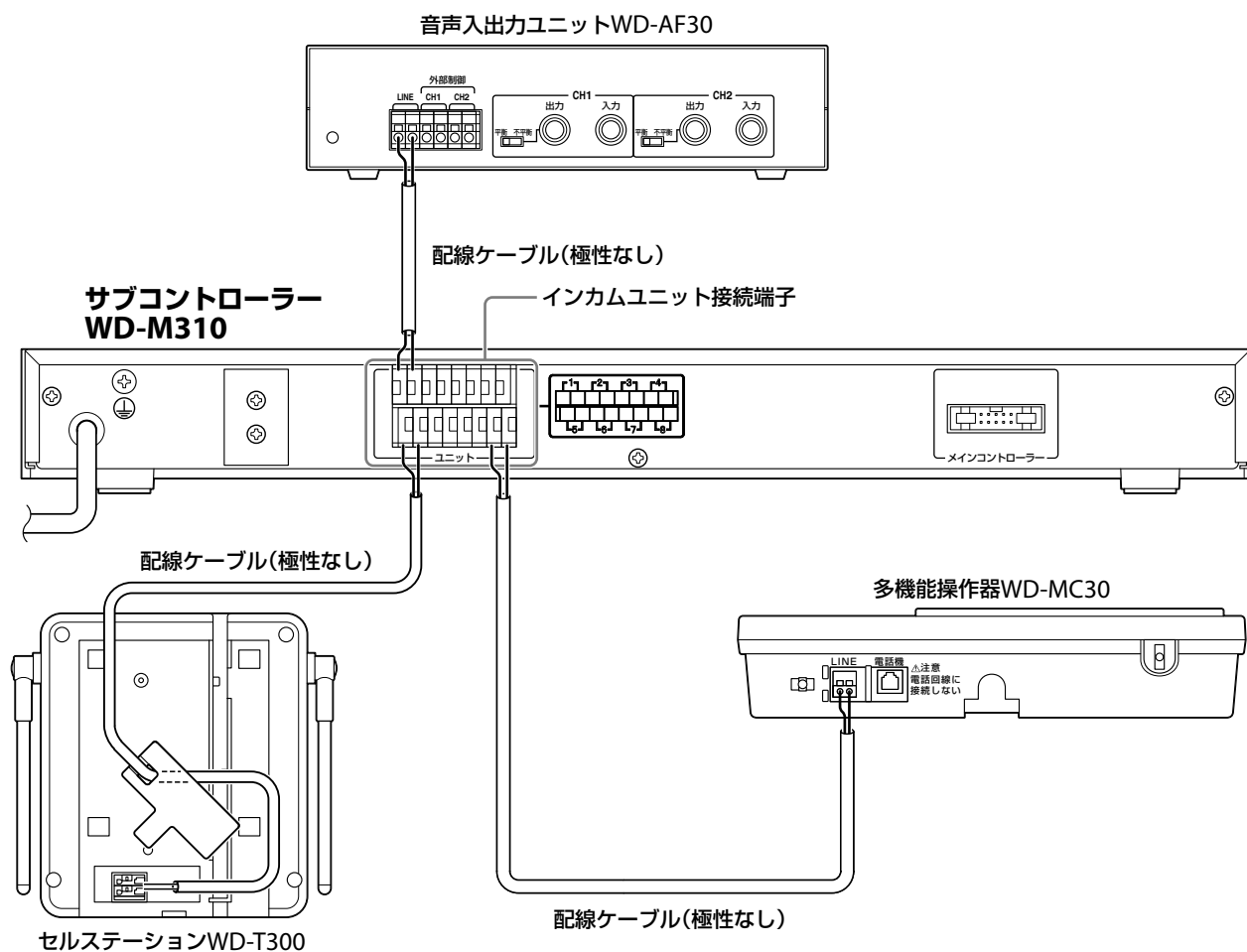
- メインコントローラーWD-M300に接続して使用します。
- 増設用のインカムユニット(WD-MC30、WD-AF30、WD-T300)を接続します。

※ラックマウントする場合は、メインコントローラーWD-M300と同じ手順で行なってください。

### ■外観図

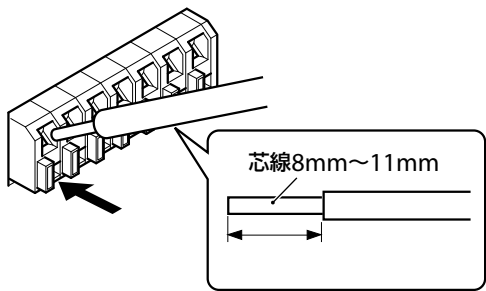


## インカムユニットを接続する



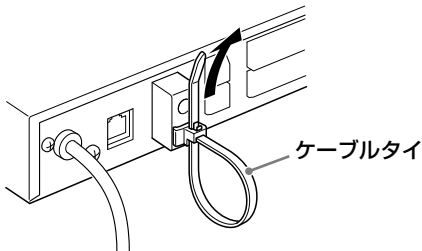
多機能操作器WD-MC30、音声入出力ユニットWD-AF30、セルステーションWD-T300を接続します。  
 接続できるインカムユニットの台数は合計で8台です。  
 接続するインカムユニット接続端子に指定はありません。どの端子にも接続できます。  
 配線ケーブルについては、7ページの「配線ケーブル条件」をご覧ください。

ケーブルの接続方法



- 1 ケーブルの被ふくを8mm～11mmむく
- 2 左図の矢印部をドライバーなどで押して芯線を端子穴の奥までまっすぐに差し込む
- 3 ケーブルを引っぱって抜けないことを確かめる

ケーブルをはずす場合はマイナスドライバーなどで矢印部を押し、ケーブルを引き抜きます。



すべての接続が終わったら、本体(WD-M310)に添付のケーブルタイを取り付け、ケーブルをまとめてください。

ランプ表示

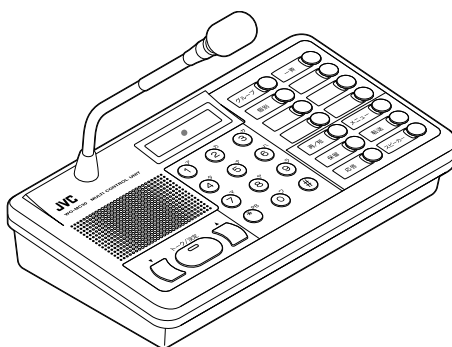
ランプの名前	表示状態	表示内容	備考
電源	消灯	電源OFF	
	点灯	電源ON	
ユニット1～8	消灯	ユニット未接続	システム起動中は消灯
	遅い点滅	ユニット起動中	1秒間に1回点灯
	速い点滅	異常	1秒間に2回点灯
	点灯	正常動作中	

## □ 多機能操作器WD-MC30の設置

### 概要

- 内線電話機またはインカム端末として使用できる多機能操作器です。
- メインコントローラーWD-M300またはサブコントローラーWD-M310に接続して使用します。
- 8個のファンクションボタンを搭載しています。
- 市販のアナログ電話機を接続することにより、本体のスピーカー、マイクの代わりとして通話に使用することができます。

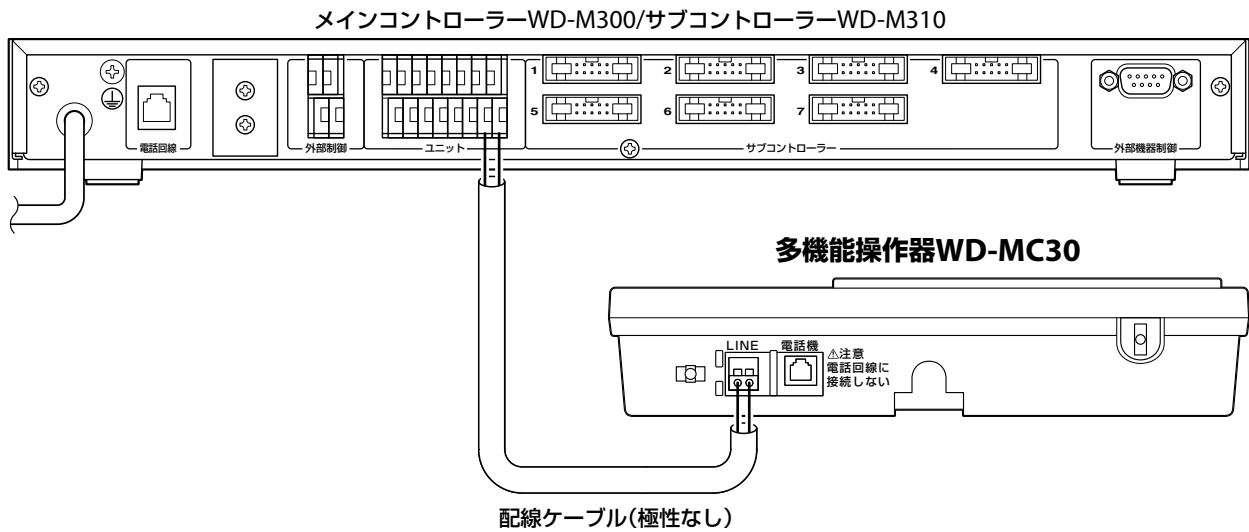
### ■ 外観図



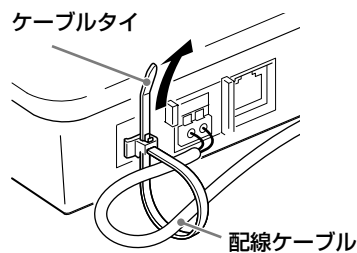
### 設置上のご注意

- 机、テーブル等に据置設置する場合、配線ケーブルに足などを引っ掛けないようケーブルの処理を行ってください。ケーブルを引っ掛けて、ケーブルが切れたり、本体が落下する場合があります。

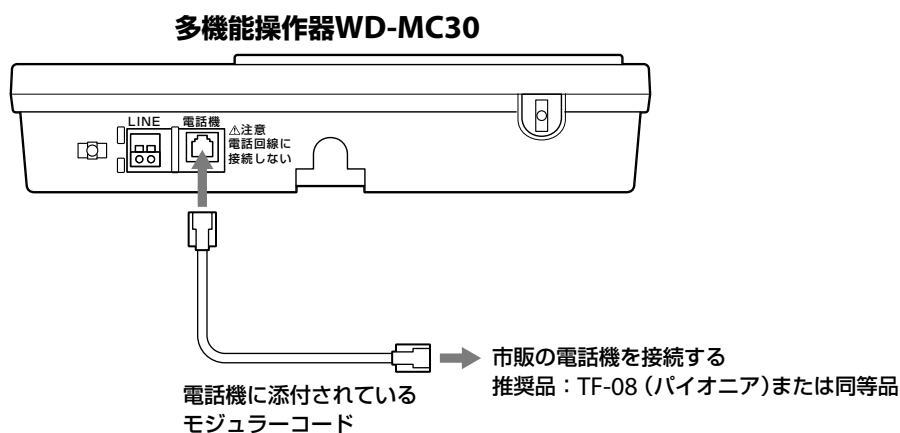
## 配線ケーブルを接続する



メインコントローラーWD-M300/サブコントローラーWD-M310からの配線ケーブルをLINE端子に接続します。ケーブル接続後、本体(WD-MC30)に添付のケーブルタイで固定してください。



## 電話機を接続する



電話機は、送受話器(ハンドセット)での送話と受話のみに使用します。電話機のテンキーなどのボタン類の操作はできません。

テンキーなど、ボタン類の操作は、多機能操作器WD-MC30本体のテンキー、ボタンで行います。ハンドセットを持ち上げる(オフフック)と、多機能操作器WD-MC30のマイクとスピーカーは無効になります。

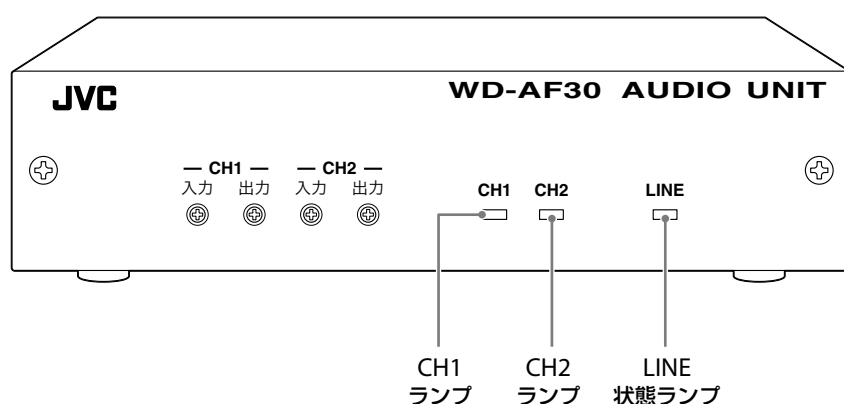
- 電話機は、推奨品、または同等の技術基準適合認定品を使用してください。
- FAXやモデムは絶対に接続しないでください。
- 公衆回線/PBXには絶対に接続しないでください。

## □ 音声入出力ユニットWD-AF30の設置

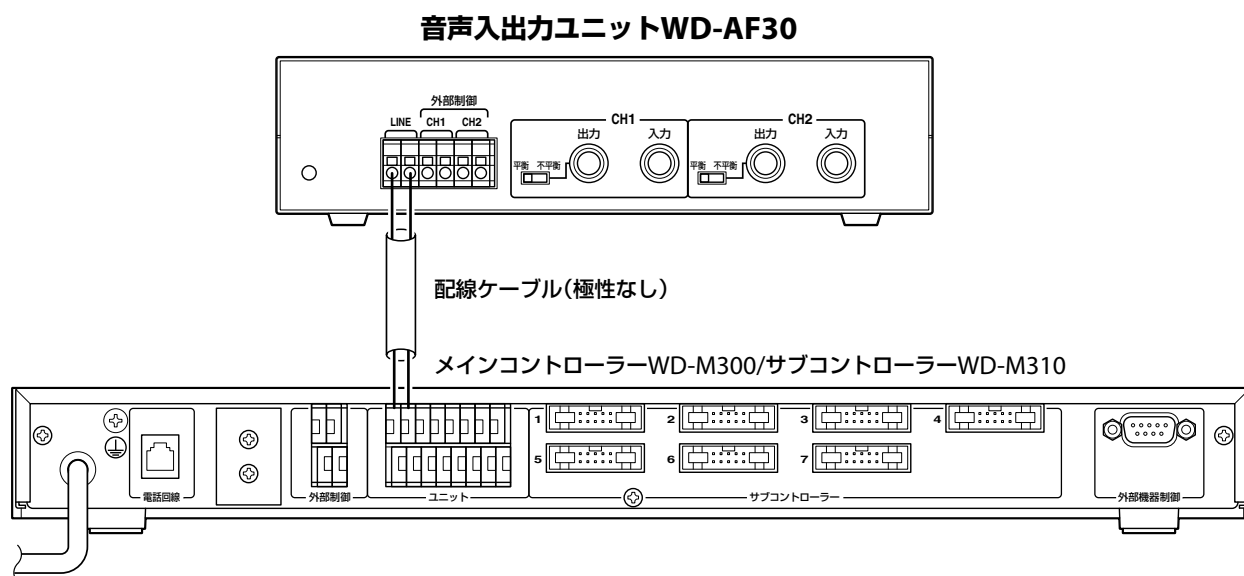
### 概要

- 外部の音声信号をインカムグループ通話に入力したり、グループ通話を外部に出力するためのユニットです。
- メインコントローラーWD-M300またはサブコントローラーWD-M310に接続して使用します。
- 構内放送設備に接続することで、構内放送にも使用できます。

### ■ 外観図

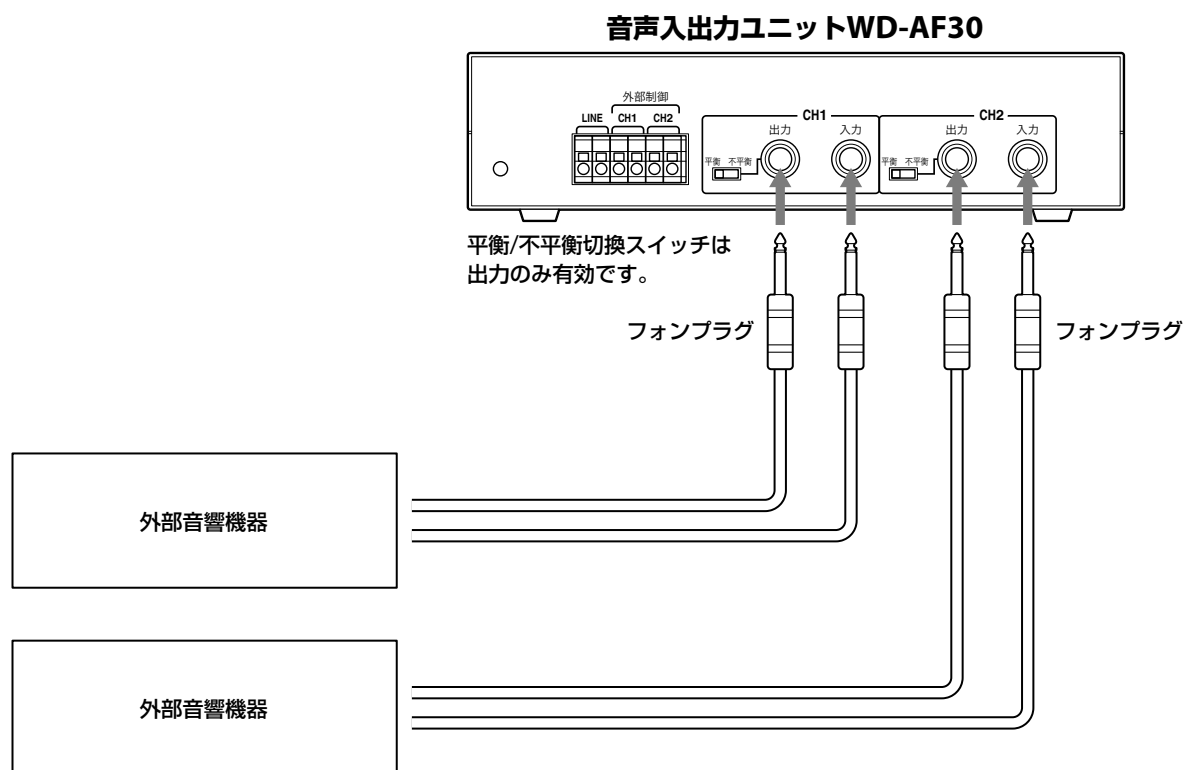


### 配線ケーブルを接続する



メインコントローラーWD-M300/サブコントローラーWD-M310からの配線ケーブルをLINE端子に接続します。

## 外部音響機器を接続する



入出力が不平衡の機器と接続する場合は、必ずモノラル用のフォンプラグをご使用ください。

音声入出力ユニットWD-AF30の入出力レベルは

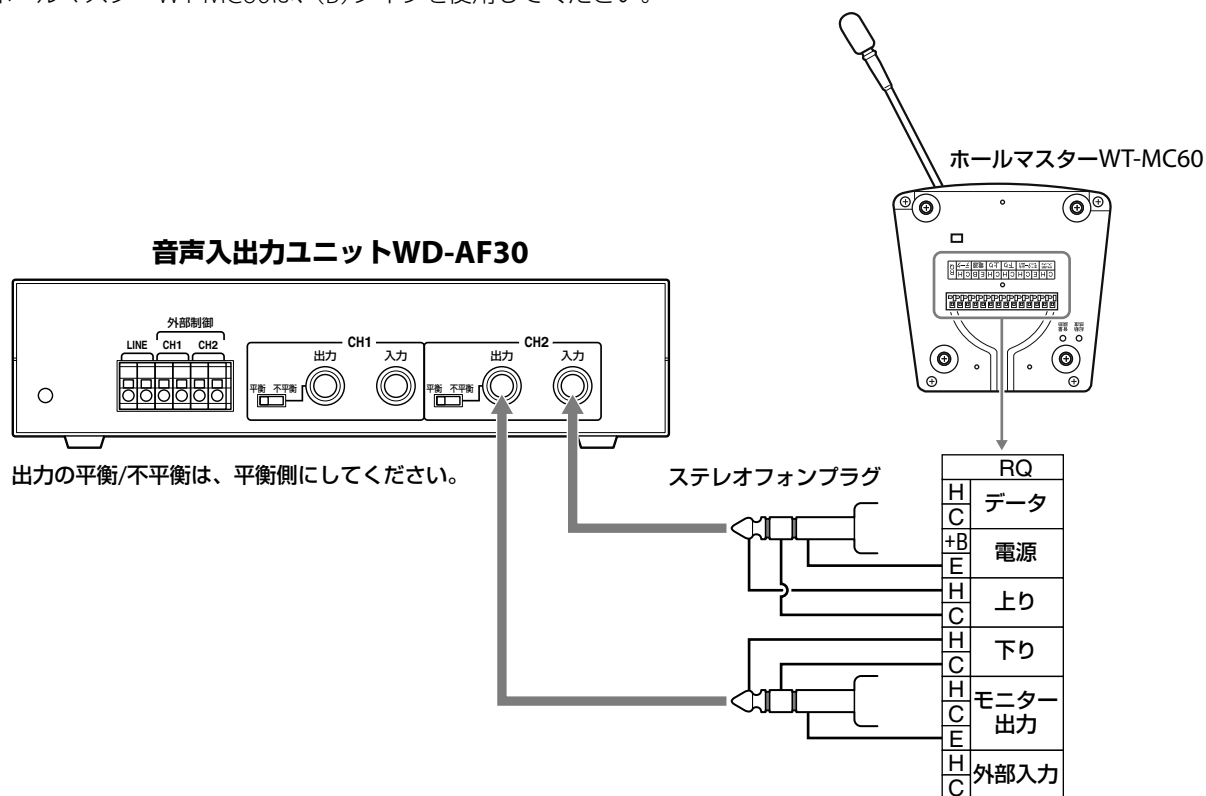
入力：-16dBs (平衡)、-10dBs (不平衡)

出力：-4dBs (平衡)、-10dBs (不平衡)が標準です。

正面のCH1、CH2の半固定ボリュームの可変範囲は、標準入出力レベルに対して+6dB、-∞です。

## ホールマスターWT-MC60を接続する

ホールマスターWT-MC60は、(B)タイプを使用してください。

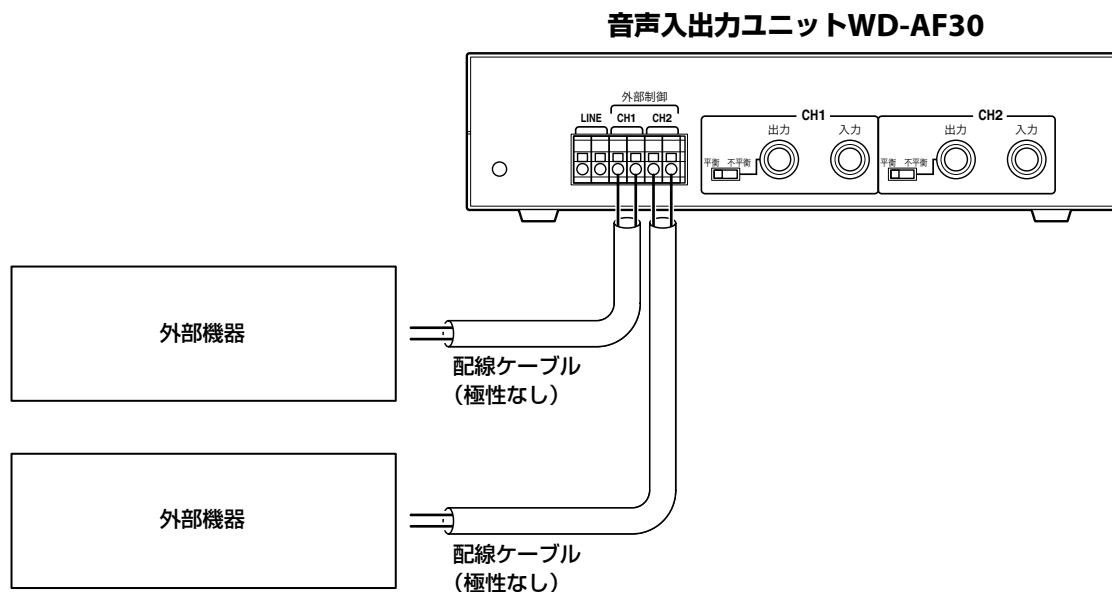


WT-MC60の電源は、ACアダプター (QAL0525-001)を使用します。

ACアダプターは必ず指定のものを使用してください。

他のACアダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがあります。

## 外部機器を接続する



制御する外部機器のリモート端子等に接続します。

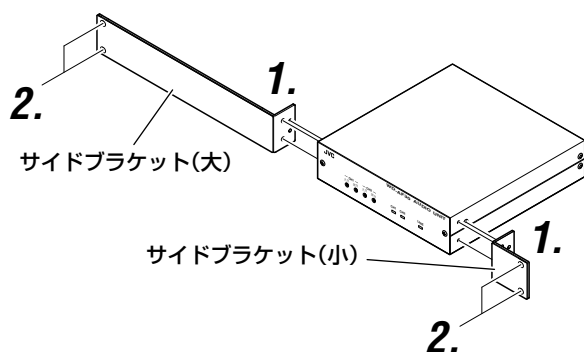
外部制御の端子はリレー接点(メーク、ブレイク選択可)で、接点の容量はDC24V 1Aです。



## ラックマウントする場合

ラックに取り付ける場合、別売(幹旋品)のラックマウント金具WDZU30BJを用いて取り付けます。

### ■ 1台の場合



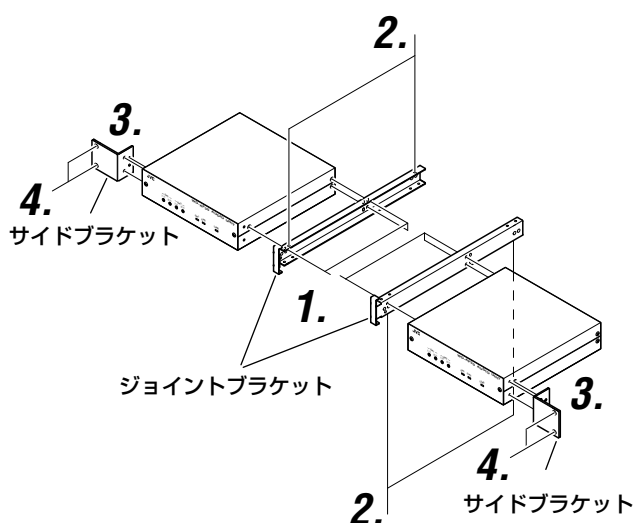
#### 1 サイドブラケットを取り付ける

音声入出力ユニットWD-AF30の左右に付いているねじを各1本はずし、ラックマウント金具に添付のM3ねじ1本とM4ねじ2本でサイドブラケット(大、小)を取り付けます。

#### 2 EIAラックに取り付ける

ラックマウント金具に添付のM5ねじ各2本で、音声入出力ユニットWD-AF30をラックに取り付けます。

### ■ 2台の場合



#### 1 ジョイントブラケットを取り付ける

音声入出力ユニットWD-AF30の左図1で示すジョイントブラケットを取り付ける側のねじを各3本はずし、ラックマウント金具に添付のM3ねじ3本でジョイントブラケット(2個)を取り付けます。

#### 2 ジョイントブラケットを連結する

ジョイントブラケットの上下4か所を、ラックマウント金具に添付のM3ねじで音声入出力ユニットWD-AF30を連結します。

#### 3 サイドブラケットを取り付ける

連結した音声入出力ユニットWD-AF30の左図3で示すサイドブラケットを取り付ける側のねじを各1本はずし、ラックマウント金具に添付のM3ねじ1本とM4ねじ2本でサイドブラケット(2個)を取り付けます。

#### 4 EIAラックに取り付ける

ラックマウント金具に添付のM5ねじ各2本で、連結した音声入出力ユニットWD-AF30をラックに取り付けます。

## ランプ表示

ランプの名前	表示状態	表示内容	備考
CH1、2	消灯	ユニット設定なし	
	点滅	ユニット起動中	
	点灯*	正常動作中	
LINE	点滅	接続中	
	点灯	正常動作中	

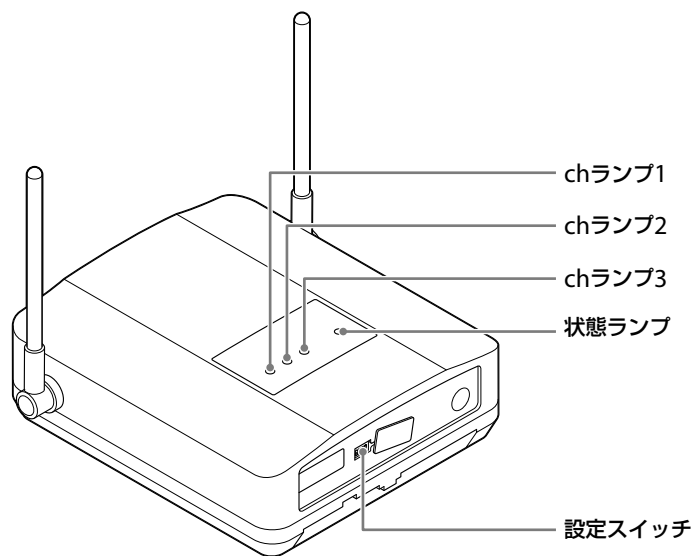
\* 設定が「放送出力」になっている場合は、放送中のみ点灯します。

## □ セルステーションWD-T300の設置

### 概要

- 無線接続により最大3台のポータブルトランシーバーWD-TR200/ワイヤレストランシーバーWD-WT20との通信を行います。
- メインコントローラーWD-M300またはサブコントローラーWD-M310に接続して使用します。

### ■ 外観図



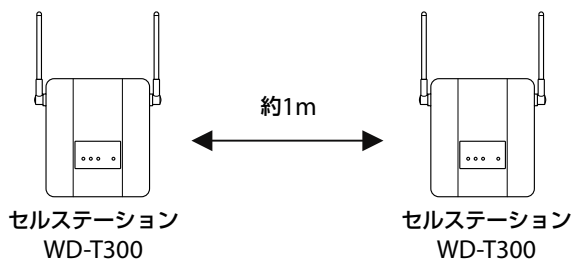
## 設置上のご注意

### ■ セルステーションWD-T300の設置場所

- 以下のような場所への設置は出来る限りさけてください。通話にノイズが入ったり、誤動作の原因となることがあります。
  - ・ 金属板の上、又は金属板の近く
  - ・ アンテナが金属に触れるような場所
  - ・ 空調機等の動力機器の近く
  - ・ 物の影になるような場所
  - ・ 低い場所
- マスターセルステーションは、メインコントローラーが設置されている場所(事務所内等)の近くに設置してください。離れた場所に設置されていると、マスターセルステーションの電波が弱くなり、子機登録ができない場合があります。
- セルステーションWD-T300の防水性は、IPX3準拠です。軒下等、直接雨水がかからない場所に設置できます。IPX3は防雨型(鉛直から60度の範囲で落ちてくる水滴による有害な影響がない)を意味しています。
- 軒下に設置する場合は、壁面に取り付けるように設置してください。
- 直接雨水がかかる場所に設置する場合は、下記のブラボックス又は同等品に収納して設置してください。  
日東工業株式会社 ブラボックス P14-23
- 雨水がかかる恐れのある場所(軒下含む)に設置する場合は、背面のゴムカバーのシール処理をしてください。(31ページ参照)

### ■ セルステーションWD-T300の設置距離

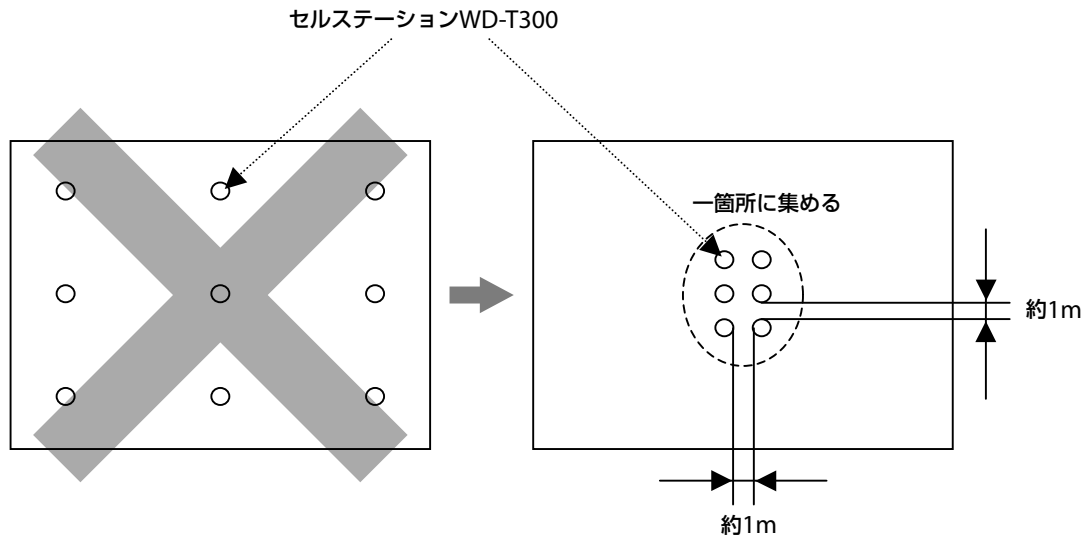
2台以上のセルステーションWD-T300を同じ場所に設置する場合は、1m程度離して設置してください。近づけて設置すると、通話にノイズが入ったり、誤動作の原因となることがあります。



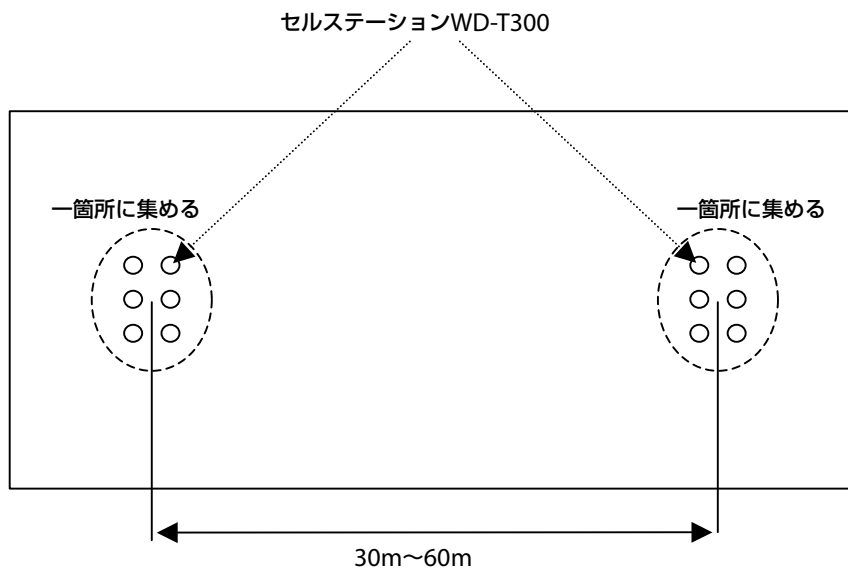
## ■ セルステーションWD-T300の配置

セルステーションWD-T300の電波到達距離(通話可能エリア)は、屋内で30～60m、屋外で約100mが目安ですが、建物の構造、障害物の有無により異なります。

- ① 同じフロア内に複数のセルステーションWD-T300を配置する場合は、フロア内に均等に配置しないで、フロアの中央付近に一箇所に集めて配置してください。



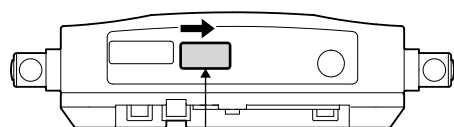
- ② フロアが広い場合には、30～60m離れた所に一箇所に集めて配置してください。



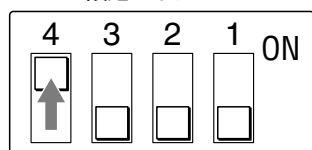
## マスターセルステーションの設定

システムに接続するセルステーションWD-T300のうち、1台のみをマスターセルステーションに設定してください。複数台のマスターセルステーションをシステムに接続すると、正常に動作しません。また、システムにマスターセルステーションが接続されていないときも、正常に動作しません。

【底面側】



設定スイッチ



設定スイッチのスイッチ4をON側にする  
(スイッチ1～3はOFFにしておく)。  
スレーブセルステーションは工場出荷状態  
のままにしておく。(すべてOFF側)

### 1 セルステーションWD-T300の設定スイッチのゴムパッキンを矢印の方向から開ける

ゴムパッキンを強く引っ張らないでください。

### 2 設定スイッチのスイッチ4をON側にする (スイッチ1～3はOFFにしておく)

### 3 設定スイッチのゴムパッキンを元に戻す

## ■ マスターセルステーションを変更する場合

1. 現在のシステム設定データをPCへダウンロードする。(60ページ)
2. 現在のマスターセルステーションを取りはずす。
3. システム設定を工場出荷設定に戻す。(60ページ)
4. 新しいマスターセルステーションを設定し、接続する。
5. 子機登録をする。
6. PCのシステム設定データをシステムにアップロードする。(60ページ)

ご注意

- セルステーションの取りはずし、接続をする場合は、システムの電源をOFFにした状態で行ってください。
- システム設定データをアップロードする場合は、必ず“設定データ”を選択してください。

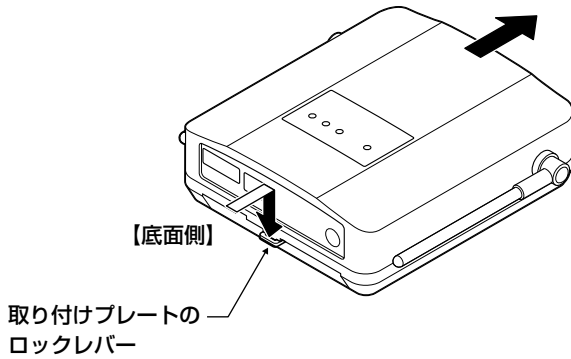
## 壁、天井への取り付け



セルステーションWD-T300を設置した場所をフロアの平面図などに記録しておく、メンテナンスのときに役に立ちます。

### 1 セルステーションWD-T300から取り付けプレートを取りはずす

取り付けプレートのロックレバーを押さえながら、セルステーションWD-T300をスライドさせて取りはずします。

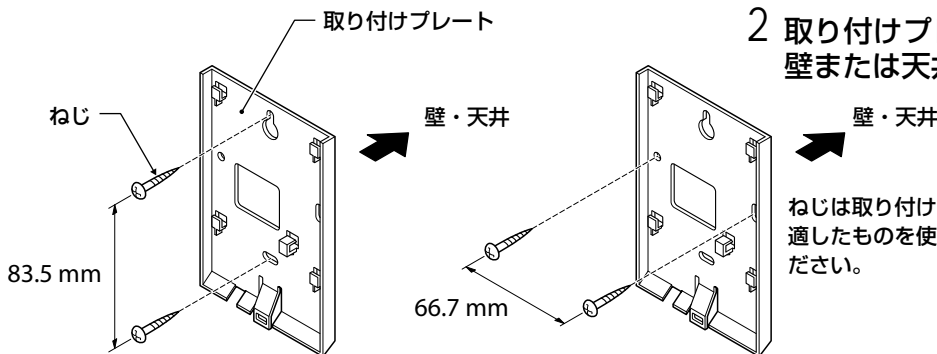


【縦方向】

【横方向】

### 2 取り付けプレートをねじ(工事手配品)で、壁または天井に取り付ける

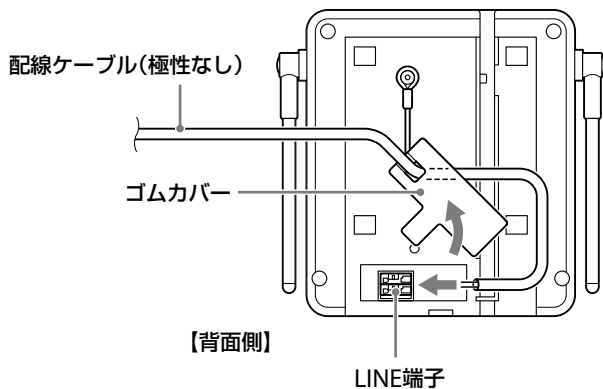
ねじは取り付け場所に適したものを使用してください。




### 3 セルステーション背面のゴムカバーを開ける

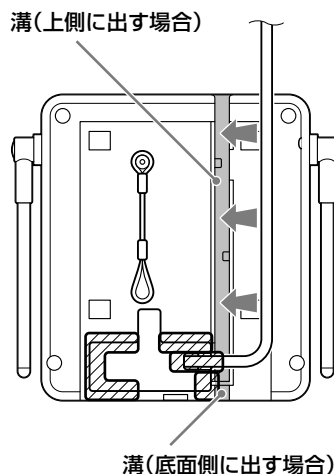
### 4 ゴムカバーの角穴に配線ケーブルを通し、LINE端子にケーブルを接続する(ケーブルの極性はありません)

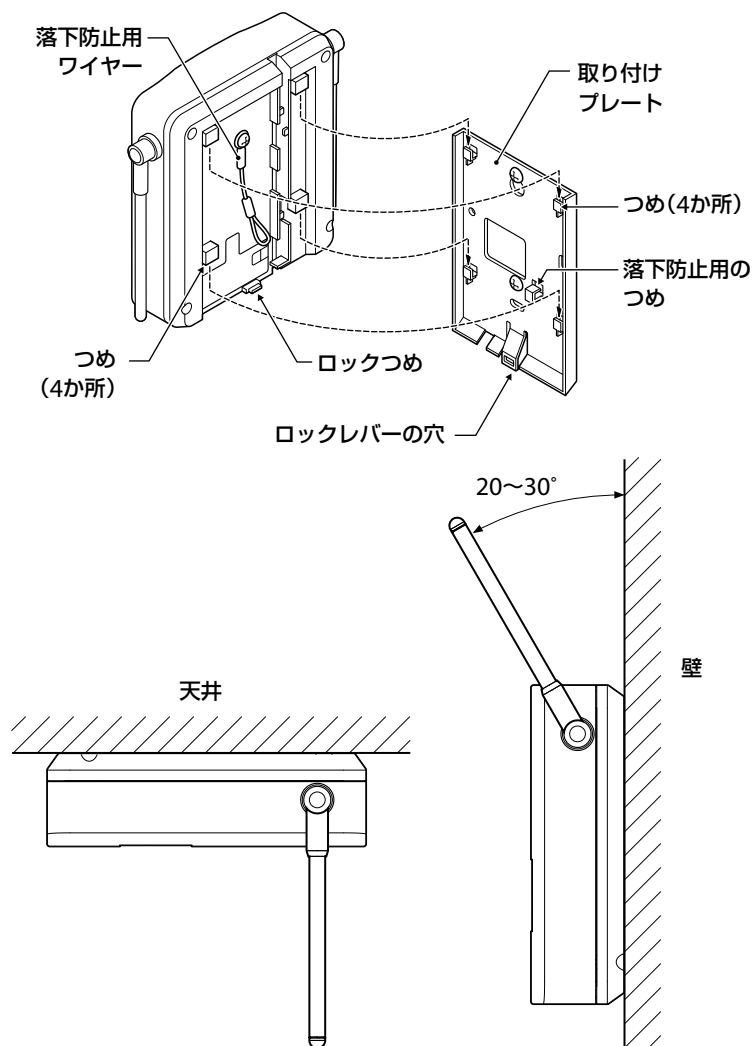
LINE端子の差し込み口は側面に付いています。左図の様に側面よりケーブルを差し込んでください



### 5 ゴムカバーを閉め、溝に配線ケーブルをはめ込む

軒下等浸水の可能性がある場所に設置する場合は、浸水しないように  部分に防水用のシール処理をしてください。





6 落下防止用ワイヤーを取り付けプレートの落下防止用のつめに引っ掛ける

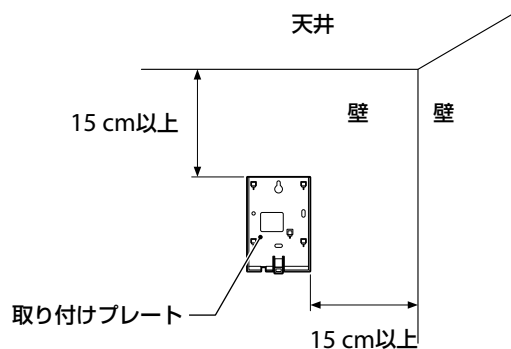
7 取り付けプレートに本体を合わせ、ロックレバーがロックするまで本体をスライドさせる

8 アンテナの向きを、天井取り付けの場合は、床面に対して垂直になるようにする

壁取り付けの場合は、壁面に対し20~30度正面側に倒す。

取り付けプレートは、図のように天井および壁から15cm以上の間隔をあけて取り付けてください。天井および壁からの間隔が近すぎると、セルステーションWD-T300を取り付けプレートに取り付けられなくなります。

ご注意



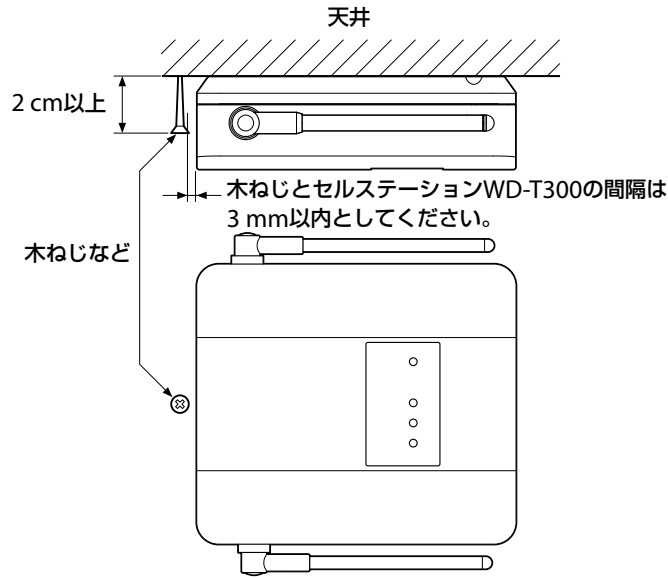
取り付ける面に適した部材を使用し、落下事故が発生しないように確実に固定してください。

ご注意

WD-T300の本体と取り付けプレートには、振動などによる脱落防止のための、ロックつめとロックレバーが付いています。取り付けるときは、このロックつめがロックレバーの穴に収まっていることを確認してください。取り付けが不十分な場合、落下の原因となります。



天井への設置の場合は、取り付けプレートに取り付け後、下図のように木ねじ(工事手配品)などを使用してセルステーションWD-T300と取り付けプレートがスライドしないように、落下防止を行なってください。



ご注意

## ランプ表示

### (1) 動作中、子機登録中

状態	セルステーション	状態ランプ	chランプ(緑) 1～3	備考
アイドル	マスター	橙点灯	すべて消灯	子機が繋がっていない状態
	スレーブ	緑点灯		
1ch使用時	マスター	橙点灯	1点灯	子機が接続している chのランプが点灯
	スレーブ	緑点灯		
2ch使用時	マスター	橙点灯	2点灯	
	スレーブ	緑点灯		
3ch使用時	マスター	橙点灯	3点灯	
	スレーブ	緑点灯		
子機登録中	マスター	橙点灯	すべて点滅	1秒間に1回点灯

### (2) その他

状態	状態ランプ	chランプ(緑) 1~3	備考
初期化中	緑点滅	すべて消灯	1秒間に1回点灯
プログラムロード中	橙点滅	すべて消灯	1秒間に1回点灯
異常	赤点滅	すべて消灯	1秒間に1回点灯

## □システムデータ設定・子機登録

WD-3000シリーズは、はじめに利用環境に応じたシステムデータ設定および子機登録をしないと使用できません。この説明書をご覧ください。システムデータ設定、子機登録をしてください。

子機登録とは、本システムで使用するポータブルトランシーバーWD-TR200及び、ワイヤレストランシーバーWD-WT20をシステムに登録することを言います。

ポータブルトランシーバーWD-TR200、ワイヤレストランシーバーWD-WT20を「子機」と呼び、子機をシステムに登録することを「子機登録」と呼びます。

システムデータ設定は、メインコントローラーWD-M300に接続したPCのWebブラウザで行います。子機登録は、子機登録ソフトウェア(WDZS30J)を用いて行います。使用開始後に設定を変更するときにも、この説明書をご覧ください。

### 準備するもの

なまえ	使用する作業	参照ページ
子機登録ソフトウェア(WDZS30J)別売	子機登録	34ページ
子機登録用PCインターフェースアダプター別売	子機登録	40ページ
PC (パソコン)	子機登録・システム設定	37、40ページ
RS-232Cストレートケーブル	子機登録	40ページ
USBtoシリアルケーブル	子機登録	40ページ
ストレートLANケーブル(カテゴリ5以上)	システム設定	37ページ

子機登録、Web設定ソフトウェアに使用するPCの推奨環境は以下のとおりです。

OS	Windows XP (ProfessionalまたはHome Edition)
ブラウザ	Internet Explorer Ver. 6.0以上
その他	Java Scriptが動作すること

システム設定のみ行う場合は、OSの制限はありません。



同時に接続できるのはPC1台のみです。

### ■子機登録用PCについて

子機登録をするときに使用するPCには、子機登録ソフトウェア(WDZS30J 別売)をインストールする必要があります。ソフトウェアに添付のWD-TR200/WD-WT20用子機登録ソフトウェア マニュアルをご覧ください。PCにインストールしてください。



子機登録には、子機設定ソフトウェア(WDZS20J)もご使用になれます。



RS-232C準拠のシリアルインターフェースが実装されていないPCへの接続  
PCにUSBインターフェースが実装されていれば、市販の「RS-232C⇔USB変換アダプター」などを介して接続することができます。次の動作確認済みのものまたは同等品をお使いください。

- USBtoシリアルケーブル UC-SGT (エレコム(株)製)

## ■ ポート番号とユニット番号について

メインコントローラーWD-M300/サブコントローラーWD-M310の背面にあるユニット接続端子に、図のようにポート番号が割り当てられています。

メインコントローラーWD-M300にはポート1からポート8までが割り当てられています。

サブコントローラーWD-M310を1台接続するとポート9からポート16が追加され、7台すべて接続すると、7台目の割り当てはポート57からポート64になります。

ご注意

サブコントローラーWD-M310を接続する場合、メインコントローラーWD-M300の背面のサブコントローラー接続端子の位置(1～7)によりポート番号が変わります。  
例えば、サブコントローラーWD-M310 1台を、サブコントローラー接続端子の3に接続した場合、サブコントローラーWD-M310は3台目と認識され、ポート番号は25～32となります。

多機能操作器WD-MC30と音声入出力ユニットWD-AF30の設定をするには、システム設定でユニット番号を指定します。

ユニット番号は、多機能操作器WD-MC30または音声入出力ユニットWD-AF30を接続したポートにより、右表のように付与されます。

1度接続した後に別のポートに接続を換えた場合は、ユニット番号も変わります。

メインコントローラーWD-M300

1	2	3	4
5	6	7	8

サブコントローラーWD-M310 (1台目)

9	10	11	12
13	14	15	16

⋮

49	50	51	52
53	54	55	56

サブコントローラーWD-M310 (7台目)

57	58	59	60
61	62	63	64

ポート 番号	ユニット番号	
	多機能操作器 WD-MC30	音声入出力ユニット WD-AF30
1	100	500/501
2	101	502/503
3	102	504/505
4	103	506/507
5	104	508/509
・	・	・
・	・	・
・	・	・
60	159	618/619
61	160	620/621
62	161	622/623
63	162	624/625
64	163	626/627

## ■ CS番号について

セルステーション(CS) WD-T300は、ポート番号に関係なく、システムに接続した順に1番からCS番号が付与されます。1度接続した後に別のポートに接続を換えてもCS番号は変わりません。

## ■ 子機番号について

子機番号は、子機登録をした順に200番から付与されます。子機設定は子機番号を指定して行います。

## □システム設定の手順

システム設定の標準的な手順を示します。

次の**1～7**のステップを参考に進めてください。なお、★マークは最低限必要なシステムデータ設定項目です。

### システム設定開始

ステップ 1	システムの電源を入れる	37ページ
ステップ 2	メインコントローラーWD-M300とPCを接続する	37ページ
ステップ 3	子機登録★	40ページ
ステップ 4	システムデータの設定	
ステップ 4-1	システム設定	46ページ
ステップ 4-2	インカム設定	47ページ
ステップ 4-3	子機設定★	48ページ
ステップ 4-4	CS設定	49ページ
ステップ 4-5	多機能操作器設定★	50ページ
ステップ 4-6	音声入出力ユニット設定★	52ページ
ステップ 4-7	放送出力設定	53ページ
	外線共通設定	54ページ
	外線モード動作設定	55ページ
	トーン設定	56ページ
	タイマー設定	58ページ
	短縮番号設定	59ページ
ステップ 5	システムデータ設定の確認	60ページ
ステップ 6	動作の確認	61ページ
ステップ 7	システムデータのダウンロード	61ページ

システムデータ設定の内容は、Web設定ソフトウェアの「システム設定一覧」で確かめることができます。

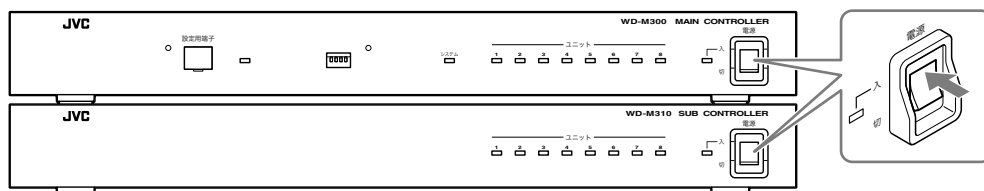
PCにダウンロードした設定データは、パソコン単体では確認・編集できません。メインコントローラーWD-M300に接続し、データをアップロードしてから確認・編集してください。

### システム設定終了

## システムの電源を入れる/切る

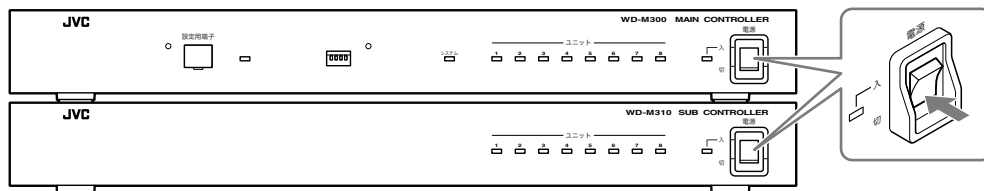
### ■ 電源を入れるとき

サブコントローラーWD-M310、メインコントローラーWD-M300の順に電源スイッチを「入」にする。  
電源ランプが緑色に点灯します。約1分後、システムランプが点灯すれば電源の投入作業完了です。



### ■ 電源を切るとき

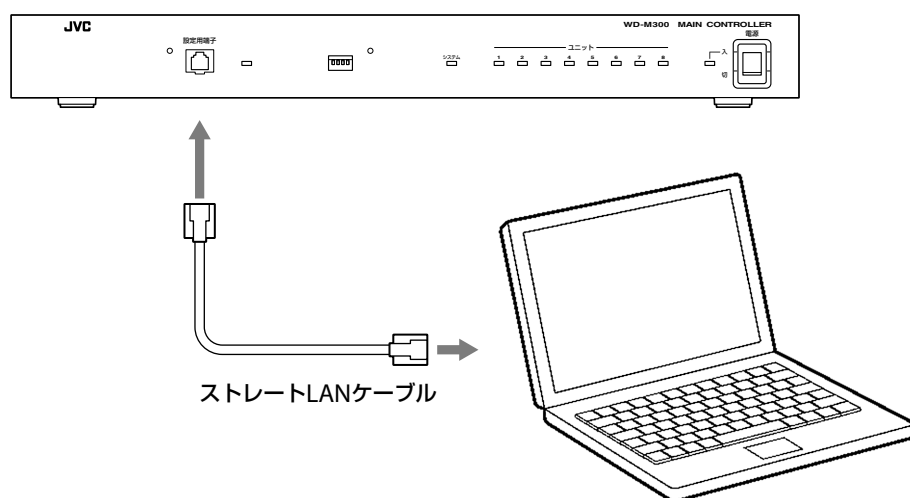
メインコントローラーWD-M300、サブコントローラーWD-M310の順に電源スイッチを「切」にする。  
約5秒後、電源ランプが消灯するとシステム電源が切れます。



本体の電源ケーブルを電源コンセントから抜く場合、又は電源ブレーカー等、大もとの電源を「OFF」にする場合は、必ず本体の電源スイッチを「切」にして電源ランプが消灯してから行ってください。

## メインコントローラーWD-M300とPCの接続

LANケーブルで接続します。



## ■ PCのIPアドレスを変更する

メインコントローラーWD-M300のWeb設定ソフトウェアに接続するには、PCのIPアドレスを変更する必要があります。

- 1 PCの電源を入れて、[スタート] - [コントロールパネル]をクリックし、[ネットワーク接続]をダブルクリックする。

[ネットワーク接続]画面が表示されます。

- 2 [ローカルエリア接続]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

- 3 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]をえらび、[プロパティ]をクリックする。

- 4 IPアドレスを変更する。

変更する前に、元の設定にもどすため必要事項をメモしておくことをおすすめします。

- ① [次のIPアドレスを使う]をえらぶ。
- ② [IPアドレス]を「192.168.0.1」に設定する。
- ③ [サブネットマスク]を「255.255.255.0」に設定する。
- ④ [デフォルトゲートウェイ]のIPアドレスを「192.168.0.254」に設定する。
- ⑤ [OK]をクリックする。

- 5 [ローカルエリア接続]のプロパティ画面の「OK」をクリックする。

変更内容が反映されます。



LANの設定はプロキシサーバーを使用しているとアクセスできません。

Internet Explorerの[ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定]の順に選択し、「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」画面の「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークをはずしてください。

## ■ Web設定ソフトウェアに接続する

- 1 PCのInternet Explorerを起動する。

- 2 ホームページアドレス欄に「http://192.168.0.2」と入力し、設定メニューにアクセスする。

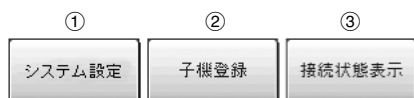
- 3 ユーザー名に「in」、パスワードに「12345678」と入力する。

トップページが表示されます。

## トップページ

## デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

WD-3000 トップページ



- ① システム設定： システム設定画面に移動します。
- ② 子機登録： 子機登録画面に移動します。
- ③ 接続状態表示： 現時点で接続している各インカムユニット、子機を表示します。

## 子機登録

子機登録を行うには、子機と子機登録ソフトウェアWDZS30JをインストールしたPCを接続する必要があります。

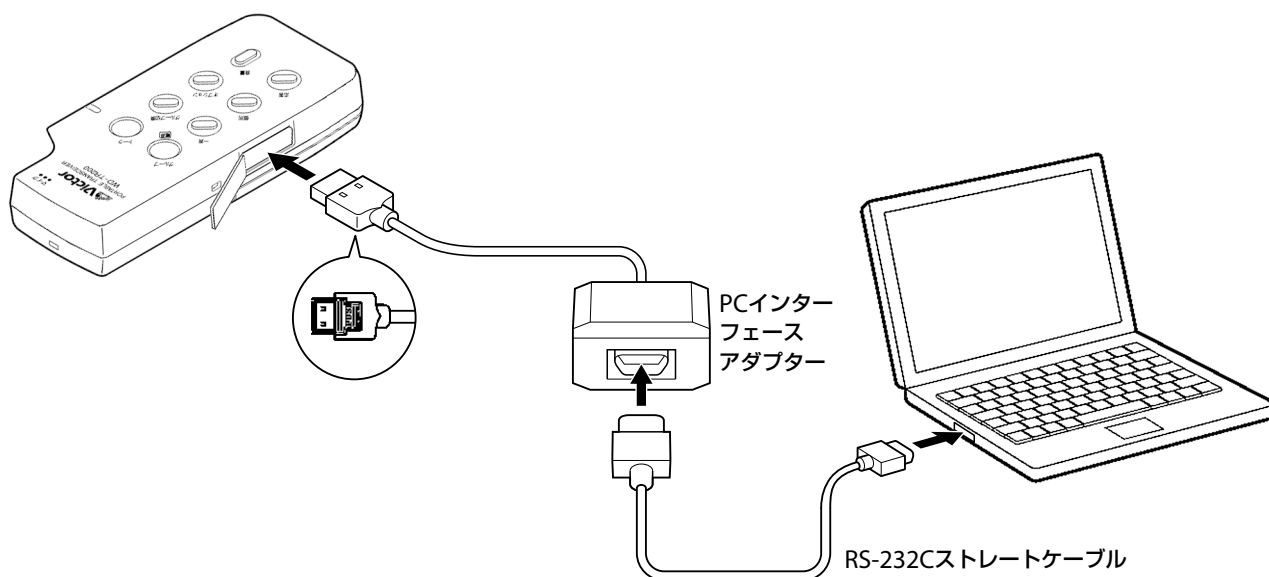
### ■ 子機の接続

子機とPCは、下図のように接続します。

PCインターフェースアダプターとPCはRS-232Cストレートケーブルで接続してください。

子機とPCインターフェースアダプターを接続するケーブルは、コネクターの「PUSH」と書いてある面を下にします。

子機とPCを下図のように接続してから、子機の電源を入れてください。



#### ● ご注意

子機とPCインターフェースアダプターを接続するケーブルのコネクターについて

- ・ 上図のように、「PUSH」と書いてある面を下にして接続してください。
- ・ ケーブルの抜き差しは、「PUSH」と書いてある部分を押しながら行ってください。

#### メモ

RS-232C準拠のシリアルインターフェースが実装されていないPCへの接続

PCにUSBインターフェースが実装されていれば、市販の「RS-232C⇔USB変換アダプター」などを介して接続することができます。次の動作確認済みのものまたは同等品をお使いください。

- ・ USBtoシリアルケーブル UC-SGT (エレコム(株)製)



## ■ 子機登録の手順



子機登録を行う場合、マスターセルステーションに接続中の子機があると、子機登録ができません。登録する子機以外、電源を切っておいてください。  
マスターセルステーションの近くに、他のセルステーションが設置されている場合は、電波の干渉で子機登録に時間がかかる場合があります。

### 1 子機とPCを接続し、子機の電源を入れる。

子機の動作ランプが緑点滅となることを確認してください。

### 2 PCで子機登録ソフトウェアを起動し、メニュー画面の「子機設定登録モード」をクリックする。

### 3 Web設定ソフトウェアのトップページから「子機登録」をクリックする。

子機登録の画面が表示され、子機番号(PS番号)と暗証番号が表示されます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

WD-3000 子機登録

① ヘルプ表示

② 子機登録を実行する

③ 子機番号(PS番号) 202

④ 暗証番号 2381

⑤ トップへ戻る

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 子機登録を実行する： ③、④で表示された内容で子機登録を実行します。
- ③ 子機番号： 子機登録する子機番号を表示します。
- ④ 暗証番号： 子機登録に使用する暗証番号を表示します。
- ⑤ トップへ戻る： WD-3000 トップページに戻ります。

子機番号は、子機登録できる番号が自動的に表示されます。

子機登録する番号を指定する場合は、プルダウンメニューから登録する番号を選択してください。

既に登録されている番号はプルダウンメニューに表示されません。

- 4 手順3で表示された子機番号(PS番号)、暗証番号を子機登録ソフトウェアに入力し、「設定書き込み」をクリックする。

- 5 Web設定ソフトウェアの子機登録の画面から「子機登録を実行する」をクリックする。  
「登録の準備中です」に続いて「登録中です」のメッセージが表示されます。

## デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

### WD-3000 子機登録

登録中です

子機番号(PS番号)	202
暗証番号	2381

⑥

トップへ戻る 子機登録を続ける 中断する

子機登録を中断する場合は「中断する」をクリックします。

「中断処理中です」に続いて「登録が中断されました」のメッセージが表示されます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム **WD-3000**

WD-3000 子機登録

登録が中断されました

子機番号(PS番号)	202
暗証番号	2381

トップへ戻る

子機登録を続ける

中断する

- 6 手順5で「登録中です」が表示されたら、子機登録ソフトウェアの「子機登録」をクリックする。  
PCの画面に「子機登録実行中」のメッセージが表示されます。

子機設定登録モード

ファイル(F) オプション(O) ヘルプ(H)

マンマシーンインタフェース

本体SW動作モード

短アサイン

本体SW長押し確定時間

スイッチ長押し

スイッチ短押し

スィッチアサインSW1

スィッチアサインSW2

スィッチアサインSW3

スィッチアサインSW4

スィッチアサインSW5

応答SW

個別1SW

一斉SW

個別2SW

放送SW

リモコンスィッチアサインSW1

リモコンスィッチアサインSW2

リモコンスィッチアサインSW3

応答SW

個別1SW

一斉SW

PS-ID

0 1 2 8 6 7 6 5 0

PS番号

2 0 2

暗証番号

2 3 8 1

圏外お知らせ音

圏外時トークボタン押で鳴動する

受話音量

サイドトーンゲイン

マイクアンプゲイン

トーンジェネレータ出力レベル

設定読み込み

設定書き込み

子機登録

状態

子機登録実行中

エラー内容

子機登録

子機登録中断

メモ

接続モデル

WD-TR200

子機交換

メニューに戻る

子機登録が完了するとPCの画面に「子機登録制御完了」と表示されます。

また、Webの子機登録画面に「登録に成功しました」と表示されます。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

WD-3000 子機登録

登録に成功しました

子機番号(PS番号)	202
暗証番号	2381

トップへ戻る

子機登録を続ける

中断する

子機登録に失敗したときは、Webの子機登録画面に「登録に失敗しました」と表示されます。

この場合は、「子機登録を続ける」をクリックして、手順3の「子機登録を実行する」からやり直してください。

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

WD-3000 子機登録

登録に失敗しました

子機番号(PS番号)	202
暗証番号	2381

トップへ戻る

子機登録を続ける

中断する

- 「子機登録制御完了」の場合、PCに「名前を付けて保存」画面が表示されます。登録した子機の子機情報を保存する場合は、ファイル名を入力して「保存」を、保存しない場合は「キャンセル」をクリックします。

名前を付けて保存

保存する場所: WDTR200設定ログフォルダ

ファイル名:

保存(S)

ファイルの種類: ログファイル(\*.jv\*)

キャンセル

- 7 子機登録ソフトウェアの「子機交換」をクリックし、子機の電源を切り、子機からPC接続ケーブルを取りはずす。

The screenshot shows the '子機設定登録モード' (Sub-machine Setting Registration Mode) window. At the bottom right, the '子機交換' (Sub-machine Exchange) button is highlighted with a red circle. Other visible elements include the 'Victor JVC' logo, various dropdown menus for switch assignments (e.g., '本体SW動作モード', 'スイッチアサインSW1-5'), numeric input fields for 'PS-ID' and 'PS番号', and volume sliders for '受話音量', 'サイドトーンゲイン', and 'マイクアンプゲイン'.

続けて別の子機を登録する場合：

- ① Web設定ソフトウェアの子機登録の画面から「子機登録を続ける」をクリックする。
- ② 登録する子機をPCに接続し、電源を入れる。
- ③ 子機登録ソフトウェアの「交換完了」をクリックする。
- ④ 手順3の「子機登録を実行する」から繰り返す。

This screenshot shows the same software interface after the exchange process. The '交換完了' (Exchange Complete) button at the bottom right is now circled in red. The '子機登録' (Sub-machine Registration) status field now displays '子機登録制御完了(正常終了)' (Sub-machine registration control completed (normal end)).

## システム設定

### デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定 インカム設定 子機設定 CS設定 多機能操作器設定 音声入出力ユニット 設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード 動作設定 トーン設定 タイマー 設定 短縮番号設定 子機一覧 CS一覧 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット 一覧 システム設定一覧 その他 トップへ戻る	システム設定 ① <a href="#">ヘルプ表示</a>	
	② <a href="#">更新</a> ③ <a href="#">キャンセル</a>	
	④ 現在日時	2010 年 1 月 17 日 0 時 19 分 <a href="#">時刻更新</a>
	⑤ CS定期リフレッシュ	毎日 <a href="#">▼</a> 設定時刻 4 時 0 分
	⑥ システムCPUソフトウェアバージョン	V0-01
	⑦ ネットワークCPUソフトウェアバージョン	V0-01
	⑧ メインFPGAバージョン	V0-01
	⑨ サブFPGAバージョン	V0-01
	⑩ 外線モジュールソフトウェアバージョン	V1-16
	⑪ WD-M310(1) FPGAバージョン	-----
	⑪ WD-M310(2) FPGAバージョン	-----
	⑪ WD-M310(3) FPGAバージョン	-----
	⑪ WD-M310(4) FPGAバージョン	-----
	⑪ WD-M310(5) FPGAバージョン	-----
⑪ WD-M310(6) FPGAバージョン	-----	
⑪ WD-M310(7) FPGAバージョン	-----	

- ① **ヘルプ表示**： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② **更新**： 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③ **キャンセル**： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ④ **現在日時**： システムの時計を設定します。「時刻更新」のクリックでシステムの時計を更新します。
- ⑤ **CS定期リフレッシュ**： CSの定期リフレッシュを起動する時刻を設定します。「毎日」、「毎週」、「しない」が選択できます。
- ⑥ **システムCPUソフトウェアバージョン**： システムCPUのソフトウェアバージョンを表示します。変更はできません。
- ⑦ **ネットワークCPUソフトウェアバージョン**： ネットワークCPUのソフトウェアバージョンを表示します。変更はできません。
- ⑧ **メインFPGAバージョン**： メインFPGAのバージョンを表示します。変更はできません。
- ⑨ **サブFPGAバージョン**： サブFPGAのバージョンを表示します。変更はできません。
- ⑩ **外線モジュールソフトウェアバージョン**： 外線モジュールのソフトウェアバージョンを表示します。変更はできません。
- ⑪ **WD-M310(1~7)FPGAバージョン**： サブコントローラーWD-M310(7台)のFPGAのバージョンを表示します。変更はできません。

## インカム設定

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定  
インカム設定  
子機設定  
**CS設定**  
多機能操作器設定  
音声入出力ユニット 設定  
放送出力設定  
外線共通設定  
外線モード 動作設定  
トーン設定  
タイマー設定  
短縮番号設定  
子機一覧  
**CS一覧**  
多機能操作器一覧  
音声入出力ユニット 一覧  
システム設定一覧  
その他  
  
トップへ戻る

インカム設定 ① ヘルプ表示

② 更新 ③ キャンセル

④ 個別通話設定	<input checked="" type="radio"/> 個別グループを使用 <input type="radio"/> 使用しない
⑤ 一斉連絡設定	<input type="radio"/> 一斉呼出モード <input checked="" type="radio"/> 一斉通話モード
⑥ 外部機器制御1設定	<input checked="" type="radio"/> メーク <input type="radio"/> ブレーク
⑥ 外部機器制御2設定	<input checked="" type="radio"/> メーク <input type="radio"/> ブレーク

- ① **ヘルプ表示** : 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② **更新** : 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③ **キャンセル** : 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ④ **個別通話設定** : 個別グループを使用すると、個別通話中に一斉連絡からの割り込みができます。使用しない場合は一斉連絡からの割り込みはできません。
- ⑤ **一斉連絡設定** : 一斉呼出は、すべての通話グループに対して一斉に送話します。このとき一斉呼出をした、子機または多機能操作器にはグループ通話音声は聞こえません。一斉通話は、すべての通話グループで一斉通話できます。
- ⑥ **外部機器制御設定** : メインコントローラーWD-M300背面にある外部制御端子1・2の動作の設定をします。端末のボタン操作で、オンとオフが切り換わる動作となり、オン時の極性が「メーク」か「ブレーク」かを選択することができます。

## 子機設定

### デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定 インカム設定 子機設定 <b>CS設定</b> 多機能操作器設定 音声入出力ユニット 設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード 動作設定 トーン設定 タイマー 設定 短縮番号設定 子機一覧 <b>CS一覧</b> 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット 一覧 システム設定一覧 その他  トップへ戻る	子機設定 ① <a href="#">ヘルプ表示</a>	
	② 子機選択(子機番号) <input type="text" value="200"/> (200-391) <a href="#">選択</a>	
	③ <a href="#">更新</a> ④ <a href="#">キャンセル</a> ⑤ <a href="#">登録削除</a> ⑥ <a href="#">登録済み子機表示</a>	
	⑦ 子機番号	<input type="text" value="200"/>
	⑧ PS-ID	<input type="text" value="012120729"/>
	⑨ 内線番号	<input type="text" value="200"/>
	⑩ 招集対象	<input type="text" value="非対象"/>
	⑪ ホームグループ	G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4 <input type="checkbox"/> G5 <input type="checkbox"/> G6 <input type="checkbox"/> G7 <input type="checkbox"/> G8 <input type="checkbox"/>
	⑫ 外線一般着信対象	モード1 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し モード2 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し モード3 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し モード4 <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し
	⑬ 機能ボタン1(グループ)	<input type="text" value="グループ"/>
	⑭ 機能ボタン2(一斉)	<input type="text" value="一斉"/>
	⑮ 機能ボタン3(個別)	<input type="text" value="個別"/> 内線番号 <input type="text" value="000"/>
	⑯ 機能ボタン4(グループ切換)	<input type="text" value="機能なし"/>
	⑰ 機能ボタン5(オプション)	<input type="text" value="機能なし"/>
	⑱ 機能ボタン6(応答)	<input type="text" value="応答"/>

設定する子機が接続中の場合は、設定の変更ができません。子機の電源を切って、再度「選択」ボタンを押して設定を行ってください。

- ① **ヘルプ表示：** 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② **子機選択(子機番号)：** 設定する子機を選択します。子機番号をえらび、「選択」をクリックすると、設定対象の子機が切り換わります。
- ③ **更新：** 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ **キャンセル：** 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ⑤ **登録削除：** 選択した子機の登録を削除します。
- ⑥ **登録済み子機表示：** 登録済み子機の一覧を表示します。
- ⑦ **子機番号：** 選択した子機の番号を表示します。対象の子機を変更するときは、「子機選択(子機番号)」から子機選択を行います。
- ⑧ **PS-ID：** 選択した子機のPS-IDを表示します。対象の子機を変更するときは、「子機選択(子機番号)」から子機選択を行います。
- ⑨ **内線番号：** 子機の内線番号を設定します。
- ⑩ **招集対象：** 選択した子機が招集の対象になるか否かを設定します。
- ⑪ **ホームグループ：** 選択した子機が所属するホームグループ(G1～G8)を設定します。複数設定できます。すべてを設定なしにはできません。
- ⑫ **外線一般着信対象：** 外線モード1～4それぞれの場合に子機を一般着信の対象とするかどうかを設定します。



- ⑬ 機能ボタン1 (グループ) : 機能ボタン1に割り当てる機能を設定します。
- ⑭ 機能ボタン2 (一斉) : 機能ボタン2に割り当てる機能を設定します。
- ⑮ 機能ボタン3 (個別) : 機能ボタン3に割り当てる機能を設定します。
- ⑯ 機能ボタン4 (グループ切替) :  
機能ボタン4に割り当てる機能を設定します。
- ⑰ 機能ボタン5 (オプション) :  
機能ボタン5に割り当てる機能を設定します。
- ⑱ 機能ボタン6 (応答) : 機能ボタン6に割り当てる機能を設定します。

## CS設定

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000	
システム設定	CS設定 ① ヘルプ表示
インカム設定	
子機設定	
CS設定	② CSの選択(CS番号) 1 (1-99) 選択
多機能操作器設定	③ 更新 ④ キャンセル ⑤ 登録削除 ⑥ 登録済みCS表示
音声入出力ユニット設定	
放送出力設定	
外線共通設定	
外線モード動作設定	
トーン設定	⑦ CS番号 1
タイマー設定	⑧ CS-ID 177134730(HEX:A8EDC8A)
短縮番号設定	⑨ ソフトウェアバージョン V1-01
子機一覧	
CS一覧	
多機能操作器一覧	
音声入出力ユニット一覧	
システム設定一覧	
その他	
トップへ戻る	

- ① ヘルプ表示 : 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② CSの選択(CS番号) : 設定するCSを選択します。CS番号をえらび、「選択」をクリックすると、設定対象のCSが切り換わります。
- ③ 更新 : 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ キャンセル : 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ⑤ 登録削除 : 選択したCSの登録を削除します。
- ⑥ 登録済みCS表示 : 登録済みCSの一覧を表示します。
- ⑦ CS番号 : 選択したCSの番号を表示します。対象のCSを変更するときは、「CSの選択 (CS番号)」からCS選択を行います。
- ⑧ CS-ID : 選択したCSのCS-IDを表示します。対象のCSを変更するときは、「CSの選択 (CS番号)」からCS選択を行います。
- ⑨ ソフトウェアバージョン : CSのソフトウェアバージョンを表示します。

## 多機能操作器設定

### デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定  
 インカム設定  
 子機設定  
 CS設定  
 多機能操作器設定  
 音声入出力ユニット 設定  
 放送出力設定  
 外線共通設定  
 外線モード 動作設定  
 トーン設定  
 タイマー 設定  
 短縮番号設定  
 子機一覧  
 CS一覧  
 多機能操作器一覧  
 音声入出力ユニット 一覧  
 システム設定一覧  
 その他  
 トップへ戻る

多機能操作器設定 ① ヘルプ表示

② 多機能操作器の選択 100 (100-163) 選択

③ 更新 ④ キャンセル ⑤ 全ユニット表示

⑥ ユニット番号	100
⑦ 内線番号	100
⑧ 招集対象	非対象
⑨ ホームグループ	G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4 <input type="checkbox"/> G5 <input type="checkbox"/> G6 <input type="checkbox"/> G7 <input type="checkbox"/> G8 <input type="checkbox"/>
⑩ 外線一般着信対象	モード1 <input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し モード2 <input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し モード3 <input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し モード4 <input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
⑪ 外線発信許可	<input checked="" type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 禁止
⑫ LCD表示濃度	4
⑬ 着信音量	4
⑭ 受話音量	4
⑮ 内線着信音	着信音1
⑯ 外線着信音	着信音2
⑰ キータッチ音	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
⑱ トークボタン設定	押下中にONする
⑲ 電話機接続	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
⑳ 機能ボタン1	グループ
㉑ 機能ボタン2	一斉
㉒ 機能ボタン3	個別 内線番号 000
㉓ 機能ボタン4	招集
㉔ 機能ボタン5	放送 出力先 全グループ 受話 しない
㉕ 機能ボタン6	機能なし
㉖ 機能ボタン7	機能なし
㉗ 機能ボタン8	機能なし
㉘ ソフトウェアバージョン	----

- 機能なし  
 機能なし  
 グループ  
 一斉  
 個別  
 放送  
 グループ切換  
 外部機器制御  
 外部音源起動  
 外線強制切断  
 招集  
 外線モード切換  
 ワンタッチ

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 多機能操作器の選択： 設定する多機能操作器を選択します。多機能操作器番号をえらび、「選択」をクリックすると、設定対象の多機能操作器が切り換わります。
- ③ 更新： 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ⑤ 全ユニット表示： WD-3000システムにある全多機能操作器の一覧を表示します。

- 
- |                |  |
|----------------|--|
| ⑥ ユニット番号：      | 選択した多機能操作器の番号を表示します。対象の多機能操作器を変更するときは、「多機能操作器の選択」から多機能操作器の選択を行います。 |
| ⑦ 内線番号：        | 多機能操作器の内線番号を設定します。   |
| ⑧ 招集対象：        | 多機能操作器に対する招集対象を、「非対象」、「対象」のいずれかから選択します。                            |
| ⑨ ホームグループ：     | 選択した多機能操作器が所属するホームグループ(G1～G8)を設定します。複数設定できます。すべてを設定なしにはできません。      |
| ⑩ 外線一般着信対象：    | 外線モード1～4それぞれの場合に多機能操作器を一般着信の対象とするかどうかを設定します。                       |
| ⑪ 外線発信許可：      | 多機能操作器の外線発信を、「許可」、「禁止」のどちらかに設定します。                                 |
| ⑫ LCD表示濃度：     | 多機能操作器のLCD表示濃度を設定します。  |
| ⑬ 着信音量：        | 多機能操作器の着信音量を設定します。   |
| ⑭ 受話音量：        | 多機能操作器の受話音量を設定します。   |
| ⑮ 内線着信音：       | 多機能操作器の内線着信音を設定します。  |
| ⑯ 外線着信音：       | 多機能操作器の外線着信音を設定します。  |
| ⑰ キータッチ音：      | 多機能操作器のキータッチ音を、「あり」、「なし」のどちらかに設定します。                               |
| ⑱ トークボタン設定：    | 多機能操作器のトークボタンを、「押下中にONする」、「押下毎にON/OFFする」のどちらかに設定します。               |
| ⑲ 電話機接続：       | 多機能操作器に外付けの電話機を接続するか否かを設定します。                                      |
| ⑳ 機能ボタン1～8：    | 多機能操作器の機能ボタンに割り当てる機能を設定します。  |
| ㉑ ソフトウェアバージョン： | 多機能操作器のソフトウェアバージョンを表示します。  |

## 音声入出力ユニット設定

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定 インカム設定 子機設定 <b>CS設定</b> 多機能操作器設定 音声入出力ユニット設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード動作設定 トーン設定 タイマー設定 短縮番号設定 子機一覧 <b>CS一覧</b> 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット一覧 システム設定一覧 その他 トップへ戻る	音声入出力ユニット設定 ① <a href="#">ヘルプ表示</a>	
	② ユニットの選択 <input type="text" value="500"/> (500-626) <a href="#">選択</a>	
	③ <a href="#">更新</a>	④ <a href="#">キャンセル</a>
	⑤ <a href="#">全ユニット表示</a>	
	CH1	⑥
	ユニット番号	500
	モード	⑦ <input type="text" value="グループ通話"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4 <input type="checkbox"/> G5 <input type="checkbox"/> G6 <input type="checkbox"/> G7 <input type="checkbox"/> G8 <input type="checkbox"/>
	招集対象	⑧ <input type="text" value="非対象"/>
	外部機器制御	⑨ <input type="text" value="メーク"/> <input type="text" value="CH1 連動しない"/>
	CH2	⑥
	ユニット番号	501
	モード	⑦ <input type="text" value="グループ通話"/> G1 <input checked="" type="checkbox"/> G2 <input type="checkbox"/> G3 <input type="checkbox"/> G4 <input type="checkbox"/> G5 <input type="checkbox"/> G6 <input type="checkbox"/> G7 <input type="checkbox"/> G8 <input type="checkbox"/>
	招集対象	⑧ <input type="text" value="非対象"/>
	外部機器制御	⑨ <input type="text" value="メーク"/> <input type="text" value="CH2 連動しない"/>
	ソフトウェアバージョン ⑩ <input type="text" value="-----"/>	

- ① **ヘルプ表示**： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② **ユニットの選択**： 設定する音声入出力ユニットを選択します。音声入出力ユニット番号をえらび、「選択」をクリックすると、設定対象の音声入出力ユニットが切り換わります。
- ③ **更新**： 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ **キャンセル**： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ⑤ **全ユニット表示**： WD-3000システムにある全音声入出力ユニットの一覧を表示します。
- ⑥ **ユニット番号**： 選択した音声入出力ユニットの番号を表示します。対象の音声入出力ユニットを変更するときは、「ユニットの選択」からユニットの選択を行います。
- ⑦ **モード**： 音声入出力ユニットのチャンネルに対するモードを、「グループ通話」、「グループモニター」、「放送出力」、「設定なし」のいずれかから選択します。  
各モードについては、  
**「グループ通話」**：入力、出力とも有効  
**「グループモニター」**：出力のみ有効、入力は無効  
**「放送出力」**：放送出力のみ有効  
**「設定なし」**：入力、出力とも無効  
 となります。
- ⑧ **招集対象**： モード設定で「グループ通話」または「グループモニター」に設定したとき、音声入出力ユニットのチャンネルに対する招集対象を、「非対象」、「対象」のいずれかから選択します。
- ⑨ **外部機器制御**： モード設定で「放送出力」に設定したとき、音声入出力ユニットのチャンネルに対する外部制御の設定を「メーク」、「ブレーク」のいずれかから、外部制御の動作を連動する、連動しないのいずれかから選択します。
- ⑩ **ソフトウェアバージョン**： 音声入出力ユニットのソフトウェアバージョンを表示します。

## 放送出力設定

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000																	
<div>システム設定</div> <div>インカム設定</div> <div>子機設定</div> <div>CS設定</div> <div>多機能操作器設定</div> <div>音声入出力ユニット設定</div> <div>放送出力設定</div> <div>外線共通設定</div> <div>外線モード動作設定</div> <div>トーン設定</div> <div>タイマー設定</div> <div>短縮番号設定</div> <div>子機一覧</div> <div>CS一覧</div> <div>多機能操作器一覧</div> <div>音声入出力ユニット一覧</div> <div>システム設定一覧</div> <div>その他</div> <div>トップへ戻る</div>	<div>放送出力設定</div> <div>① ヘルプ表示</div> <div>② 更新</div> <div>③ キャンセル</div> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>放送グループ1</td> <td>           開始音 <span>あり(チャイム)</span> ④            終了音 <span>あり(チャイム)</span> ⑤            音量 <span>中</span> ⑥         </td> </tr> <tr> <td>放送グループ2</td> <td>           開始音 <span>なし</span> ④            終了音 <span>なし</span> ⑤            音量 <span>中</span> ⑥         </td> </tr> <tr> <td>放送グループ3</td> <td>           開始音 <span>なし</span> ④            終了音 <span>なし</span> ⑤            音量 <span>中</span> ⑥         </td> </tr> <tr> <td>放送グループ4</td> <td>           開始音 <span>なし</span> ④            終了音 <span>なし</span> ⑤            音量 <span>中</span> ⑥         </td> </tr> <tr> <td>放送グループ5</td> <td>           開始音 <span>なし</span> ④            終了音 <span>なし</span> ⑤            音量 <span>中</span> ⑥         </td> </tr> <tr> <td>放送グループ6</td> <td>           開始音 <span>なし</span> ④            終了音 <span>なし</span> ⑤            音量 <span>中</span> ⑥         </td> </tr> <tr> <td>放送グループ7</td> <td>           開始音 <span>なし</span> ④            終了音 <span>なし</span> ⑤            音量 <span>中</span> ⑥         </td> </tr> <tr> <td>放送グループ8</td> <td>           開始音 <span>なし</span> ④            終了音 <span>なし</span> ⑤            音量 <span>中</span> ⑥         </td> </tr> </tbody> </table>	放送グループ1	開始音 <span>あり(チャイム)</span> ④ 終了音 <span>あり(チャイム)</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥	放送グループ2	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥	放送グループ3	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥	放送グループ4	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥	放送グループ5	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥	放送グループ6	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥	放送グループ7	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥	放送グループ8	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥
放送グループ1	開始音 <span>あり(チャイム)</span> ④ 終了音 <span>あり(チャイム)</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥																
放送グループ2	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥																
放送グループ3	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥																
放送グループ4	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥																
放送グループ5	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥																
放送グループ6	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥																
放送グループ7	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥																
放送グループ8	開始音 <span>なし</span> ④ 終了音 <span>なし</span> ⑤ 音量 <span>中</span> ⑥																

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 更新： 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③ キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ④ 開始音： 放送時の開始音を、「なし」、「あり(チャイム)」、「あり(スプラッシュ)」から選択します。
- ⑤ 終了音： 放送時の終了音を、「なし」、「あり(チャイム)」、「あり(スプラッシュ)」から選択します。
- ⑥ 音量： 放送時の開始/終了音の音量を、「特大」、「大」、「中」、「小」、「特小」から選択します。

## 外線共通設定

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000	
システム設定	外線共通設定 ① ヘルプ表示
インカム設定	
子機設定	② 更新 ③ キャンセル
CS設定	
多機能操作器設定	
音声入出力ユニット設定	
放送出力設定	
外線共通設定	
外線モード動作設定	
トーン設定	
タイマー設定	
短縮番号設定	
子機一覧	
CS一覧	
多機能操作器一覧	
音声入出力ユニット一覧	
システム設定一覧	
その他	
トップへ戻る	

④ 接続形態	公衆回線 ▼
⑤ 回線種類	DP(20PPS) ▼
⑥ 通常ダイヤルのポーズ時間	6 00ms(0-255);100ms単位
⑦ 外線受話音量	+4dB ▼

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 更新： 操作した内容で、設定データを更新します。
- ③ キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ④ 接続形態： 電話回線の接続形態(公衆回線/PBX)を選択します。
- ⑤ 回線種類： 電話回線種類(ダイヤル式/プッシュ式)を設定します。PB=プッシュ式を選択します。DP(10PPS)=ダイヤル式(DP10PPS)を選択します。DP(20PPS)=ダイヤル式(DP20PPS)を選択します。
- \* DPとは：ダイヤルパルス式の電話機およびそのダイヤル音のことを指します。10パルス毎秒方式と20パルス毎秒方式があります。
  - \* PBとは：プッシュボタン式の電話機およびそのダイヤル音のことを指します。いわゆるピポパという音に代表されます。
- ⑥ 通常ダイヤルのポーズ時間： 電話回線の交換機動作に関する設定値(桁間ポーズ)を設定します。
- ⑦ 外線受話音量： 外線電話からの受話音量を設定します。

## 外線モード動作設定

デジタルワイレスインターカムシステム WD-3000	
システム設定	外線モード動作設定 ① ヘルプ表示
インカム設定	
子機設定	② 動作モード選択 モード1 ▼ 選択
CS設定	
多機能操作器設定	③ 更新 ④ キャンセル
音声入出力ユニット設定	
放送出力設定	⑤ 動作モード 1
外線共通設定	⑥ 運用モード DISA自動 ▼
外線モード動作設定	⑦ DID/DISA自動時の動作 内線 ▼ 内線番号 101
トーン設定	
タイマー設定	⑧ DISAパスワード 444444
短縮番号設定	⑨ 誤ダイヤル時着信 切断 ▼
子機一覧	⑩ 未応答・話中転送 切断 ▼
CS一覧	
多機能操作器一覧	
音声入出力ユニット一覧	
システム設定一覧	
その他	
トップへ戻る	

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 動作モード選択： 設定する動作モードを選択します。設定する動作モードをプルダウンよりえらび、「選択」をクリックしてください。
- ③ 更新： 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ⑤ 動作モード： 現在選択されている動作モードを表示します。動作モードを変更するときは、「動作モード選択」から動作モードを選択します。
- ⑥ 運用モード： 動作モードにおける運用形態を設定します。
- ・一般着信＝外線から着信があると、外線一般着信対象となっている多機能操作器または子機(複数可)に着信します。
  - ・DID自動＝外線着信に自動応答します。そのあとの接続動作も自動で行います。
  - ・DID手動＝外線着信に自動応答します。そのあとの発呼者による特番入力または内線番号入力によりシステムへの接続を行います。
  - ・DISA自動＝外線着信に自動応答した後、パスワードの入力を要求します。パスワードが一致した後の動作はDID自動と同様です。
  - ・DISA手動＝外線着信に自動応答した後、パスワードの入力を要求します。パスワードが一致した後の動作はDID手動と同様です。
- ⑦ DID/DISA自動時の動作： 運用モードがDID自動またはDISA自動の場合の接続動作を指定します。
- グループ1～8＝グループ通話1～8に参加します。
- 一斉＝外線からの一斉連絡(呼び出し、通話)を行います。
- 内線＝指定した内線番号へ外線を着信させます。
- ⑧ DISAパスワード： 運用モードがDISA自動またはDISA手動の場合のパスワードを指定します。パスワードは任意の数字6けたとなります。

- ⑨ 誤ダイヤル時着信： 運用モードがDIDまたはDISAのとき、誤ダイヤルが発生した場合の動作を設定します。  
切断＝外線を強制的に切断します。  
内線＝ここで指定した内線番号に外線を転送着信します。
- ⑩ 未応答・話中転送： 外線着信が未応答のまま時間切れになったとき、あるいは、着信先の端末が話中だった場合の動作を設定します。  
切断＝外線を強制的に切断します。  
内線＝ここで指定した内線番号に外線を転送着信します。

## トーン設定

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000	
<div>システム設定</div> <div>インカム設定</div> <div>子機設定</div> <div>CS設定</div> <div>多機能操作器設定</div> <div>音声入出力ユニット設定</div> <div>放送出力設定</div> <div>外線共通設定</div> <div>外線モード動作設定</div> <div>トーン設定</div> <div>タイマー設定</div> <div>短縮番号設定</div> <div>子機一覧</div> <div>CS一覧</div> <div>多機能操作器一覧</div> <div>音声入出力ユニット一覧</div> <div>システム設定一覧</div> <div>その他</div> <div>トップへ戻る</div>	<div>トーン設定 ① ヘルプ表示</div> <div>② 対象トーン選択</div> <div> <div>モード切替</div> <div>選択</div> </div> <div>③ 更新 ④ キャンセル</div> <div>⑤ 音量</div> <div>大</div>

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 対象トーン選択： 設定の対象となるトーンをプルダウンリストから選択します。以下の種類のトーンが用意されています。
- モード切替/一斉連絡/招集連絡/外部制御/セカンドDT/セカンドダイヤルエラー/外線話中着信/保留警報/内線DT/内線呼出/内線話中着信/内線ハウラー/警告/無効/着信音1～5**
- 上記トーンのうち、モード切替/一斉連絡/招集連絡/セカンドDT/セカンドダイヤルエラー/内線DT/警告/無効は、固定音で⑥の音量設定のみ可能です。それ以外のトーンは可変音で、パターン長、鳴動時間、音源種別等の設定ができます。
- ③ 更新： 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ④ キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ⑤ 音量： 選択したトーンに対する音量の設定を「特大」、「大」、「中」、「小」、「特小」から選択できます。



## デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000

システム設定  
 インカム設定  
 子機設定  
 CS設定  
 多機能操作器設定  
 音声入出力ユニット設定  
 放送出力設定  
 外線共通設定  
 外線モード動作設定  
 トーン設定  
 タイマー設定  
 短縮番号設定  
 子機一覧  
 CS一覧  
 多機能操作器一覧  
 音声入出力ユニット一覧  
 システム設定一覧  
 その他  
 トップへ戻る

トーン設定

ヘルプ表示

対象トーン選択	外部制御 選択
---------	------------



⑥ 再生パターン	再生周期 1 (0-255)秒 再生回数 1 (0-255,0:無制限)
⑦ パターン内容長	パターン1～3
⑧ パターン1: 鳴動設定	ON
⑨ パターン1: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
⑩ パターン1: 音源種別	800Hz (-12dB)
パターン2: 鳴動設定	ON
パターン2: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン2: 音源種別	660Hz (-12dB)
パターン3: 鳴動設定	OFF
パターン3: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン3: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン4: 鳴動設定	OFF
パターン4: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン4: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン5: 鳴動設定	OFF
パターン5: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン5: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン6: 鳴動設定	OFF
パターン6: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン6: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン7: 鳴動設定	OFF
パターン7: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン7: 音源種別	400Hz (0dB)
パターン8: 鳴動設定	OFF
パターン8: 鳴動時間	1 (1-255,100ms単位)
パターン8: 音源種別	400Hz (0dB)

- ⑥ 再生パターン： 再生周期と再生回数を設定します。再生回数が1回の場合は、再生周期は無効となります。
- ⑦ パターン内容長： パターンの内容を、1～8までの間で設定します。
- ⑧ パターン1: 鳴動設定： パターン1の鳴動を設定します。「ON」で鳴動する、「OFF」で鳴動しない、となります。
- ⑨ パターン1: 鳴動時間： ⑧の「ON」又は「OFF」の時間を100msec単位で設定します。
- ⑩ パターン1: 音源種別： ⑧で「ON」の場合の音源(周波数、音量)を選択します。

パターン2以降も⑧、⑨、⑩と同様に設定します。⑦で設定したパターン以降の設定は無効となります。

## タイマー設定

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000			
システム設定 インカム設定 子機設定 <b>CS設定</b> 多機能操作器設定 音声入出力ユニット 設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード 動作設定 トーン設定 <b>タイマー設定</b> 短縮番号設定 子機一覧 <b>CS一覧</b> 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット 一覧 システム設定一覧 その他 トップへ戻る	タイマー設定 ① <input type="button" value="ヘルプ表示"/>		
	② <input type="button" value="更新"/> ③ <input type="button" value="キャンセル"/>		
	④ 一斉解除時間	60	秒(10-1800,0:無制限)
	⑤ 個別呼出解除時間	0	秒(10-1800,0:無制限)
	⑥ 個別通話解除時間	0	秒(10-1800,0:無制限)
	⑦ 放送解除時間	0	秒(10-1800,0:無制限)
	⑧ 招集解除時間	0	秒(10-1800,0:無制限)
	⑨ 外線接続解除時間	0	秒(10-1800,0:無制限)
	⑩ 外線保留警告時間	0	秒(10-1800,0:無制限)
	⑪ 内線番号入力時間	0	秒(10-1800,0:無制限)
	⑫ サービス特番入力時間	10	秒(10-1800,0:無制限)
	⑬ 子機ハンドオーバー待ち時間	10	秒(10-1800,0:無制限)

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 更新： 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③ キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ④ 一斉解除時間： 一斉状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑤ 個別呼出解除時間： 個別呼出状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑥ 個別通話解除時間： 個別通話状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑦ 放送解除時間： 放送状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑧ 招集解除時間： 招集状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑨ 外線接続解除時間： 外線接続状態を強制的に解除するタイマー値を設定します。
- ⑩ 外線保留警告時間： 外線保留状態の場合に警告音を鳴らすタイマー値を設定します。
- ⑪ 内線番号入力時間： 内線番号の入力がされなかったとシステムが判断するタイマー値を設定します。
- ⑫ サービス特番入力時間： サービス特番の入力がされなかったとシステムが判断するタイマー値を設定します。
- ⑬ 子機ハンドオーバー待ち時間： 子機がハンドオーバーする間、システムが待つタイマー値を設定します。

## 短縮番号設定

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000	
システム設定	短縮番号設定 ① ヘルプ表示
インカム設定	
子機設定	② 更新 ③ キャンセル
CS設定	
多機能操作器設定	④ システム電話番号(短縮)1
音声入出力ユニット設定	④ システム電話番号(短縮)2
放送出力設定	④ システム電話番号(短縮)3
外線共通設定	④ システム電話番号(短縮)4
外線モード動作設定	④ システム電話番号(短縮)5
トーン設定	④ システム電話番号(短縮)6
タイマー設定	④ システム電話番号(短縮)7
短縮番号設定	④ システム電話番号(短縮)8
子機一覧	④ システム電話番号(短縮)9
CS一覧	④ システム電話番号(短縮)10
多機能操作器一覧	
音声入出力ユニット一覧	
システム設定一覧	
その他	
トップへ戻る	

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 更新： 設定を変更し、更新する場合に押します。設定が無効の場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ③ キャンセル： 設定の変更をキャンセルする場合に押します。
- ④ システム電話番号(短縮) 1～10： システム共通短縮番号を設定します。設定できる番号は最大24けたまでです。

## 子機一覧

登録済み子機の設定の確認ができます。

## CS一覧

登録済みCSの設定の確認ができます。

## 多機能操作器一覧

多機能操作器の設定の確認ができます。

## 音声入出力ユニット一覧

音声入出力ユニットの設定の確認ができます。

## システム設定一覧

システム設定の確認ができます。

## その他

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-3000									
システム設定 インカム設定 子機設定 CS設定 多機能操作器設定 音声入出力ユニット 設定 放送出力設定 外線共通設定 外線モード 動作設定 トーン設定 タイマー設定 短縮番号設定 子機一覧 CS一覧 多機能操作器一覧 音声入出力ユニット 一覧 システム設定一覧 その他 トップへ戻る	<div>その他 <span>① ヘルプ表示</span></div> <table><tbody><tr><td>② 設定値初期化</td><td><span>出荷設定に戻す</span></td></tr><tr><td>③ 再起動</td><td><span>再起動開始</span></td></tr><tr><td>④ 設定値ダウンロード</td><td><span>ダウンロード開始</span></td></tr><tr><td>⑤ 設定値アップロード</td><td><div><div><span>アップロード開始</span></div><div><input checked="" type="radio"/> 設定データ <input type="radio"/> 設定データ+ 子機登録データ</div></div><span>参照...</span></td></tr></tbody></table>	② 設定値初期化	<span>出荷設定に戻す</span>	③ 再起動	<span>再起動開始</span>	④ 設定値ダウンロード	<span>ダウンロード開始</span>	⑤ 設定値アップロード	<div><div><span>アップロード開始</span></div><div><input checked="" type="radio"/> 設定データ <input type="radio"/> 設定データ+ 子機登録データ</div></div> <span>参照...</span>
② 設定値初期化	<span>出荷設定に戻す</span>								
③ 再起動	<span>再起動開始</span>								
④ 設定値ダウンロード	<span>ダウンロード開始</span>								
⑤ 設定値アップロード	<div><div><span>アップロード開始</span></div><div><input checked="" type="radio"/> 設定データ <input type="radio"/> 設定データ+ 子機登録データ</div></div> <span>参照...</span>								

- ① ヘルプ表示： 各項目や用語の説明が表示されます。
- ② 設定値初期化： WD-3000システムの設定値を工場出荷値に初期化します。「出荷設定に戻す」ボタンを押下すると確認ダイアログが表示されます。「OK」ボタンを押下すると初期化します。
- ③ 再起動： WD-3000システムを再起動します。「再起動開始」ボタンを押下すると確認ダイアログが表示されます。「OK」ボタンを押下すると再起動します。
- ④ 設定値ダウンロード： WD-3000システムの全設定値データをPCへダウンロードします。「ダウンロード開始」ボタンを押下すると確認用ページが表示されます。「設定ファイルをダウンロード」ボタンを押下すると、ダウンロード用ダイアログが表示されます。「保存」ボタンを押下し、保存先を指定するとファイルが書き込まれます。
- ⑤ 設定値アップロード： PCにある全設定値データをWD-3000システムにアップロードします。「参照」ボタンを押下するとファイルを選択するダイアログが表示されます。全設定値のデータが入っているファイルを選び「アップロード開始」ボタンを押下するとアップロードが開始します。設定データのみアップロードする場合と、子機登録データも含めてアップロードする場合を選択出来ます。

## 動作の確認

全てのシステム設定を終了した後、以下の項目の確認を行ってください。

- 子機の電源を入れて、全ての子機でグループ通話ができること。
- 多機能操作器もインカムに参加する場合は、グループ通話モードに入りグループ通話ができること。
- グループ数が2以上の場合は、グループに分かれてグループ通話ができること。
- 一斉ボタンが設定してある場合は、一斉ボタンを押して、全員に「ピポピポ」というお知らせ音が聞こえ、音声聞こえること。
  - ・ 一斉呼出の設定の場合は、応答ボタンを押した相手と個別通話(1対1)ができること。
  - ・ 一斉通話の設定の場合は、全員でグループ通話ができること。
- 個別ボタンが設定してあり、呼び出す相手が設定してある場合は、
  - ・ 個別ボタンを押して、設定した相手を呼び出せること。
  - ・ 呼び出された相手が応答ボタンを押して個別通話(1対1)ができること。
- グループ切換ボタンが設定してある場合は、グループ切換ボタンを押して、「ピッ」というお知らせ音が聞こえ、設定したグループに切換ができること。
- 招集ボタンが設定してある場合は、招集ボタンを押して、招集対象に設定されている全員に「ピポポ」というお知らせ音が聞こえ、招集グループ通話ができること。
- 放送ボタンが設定してある場合は、放送ボタンを押して、設定したスピーカーから音声聞こえること。
- 音声入出力ユニット経由で、インカムグループに音を入力する場合は、設定したグループで、入力した音が聞こえること。
- 音声入出力ユニット経由で、インカムグループの音を出力する場合は、設定したグループの通話がスピーカーから聞こえること。
- 外線を使用する場合
  - ・ 外線発信を許可された多機能操作器から外線発信ができること。
  - ・ 外線発信を禁止された多機能操作器から外線発信ができないこと。
  - ・ 一般着信を設定した多機能操作器、及び子機で外線着信ができること。
  - ・ DID、DISAが設定してある場合は、設定したグループ、多機能操作器、または子機に着信すること。
- その他、外部機器制御、外部音源起動が設定してある場合は、設定した機能が動作すること。
- 通話エリアの確認
  - ・ 予定した通話エリア内を移動して、音の途切れ、デッドポイント(通話できない場所)、ノイズの混入の有無を確認する。

多層階や複雑な構造の建物内で運用する場合、セルステーションの設定位置により、電波の減衰等で、計画どおりの通話エリアが確保できない場合があります。弊社では、お客様の使用環境に合わせたシステム設計と測定器を使用したシステム設定を承ります。ご用命はお近くのサービス窓口にご相談ください。

## システムデータのダウンロード

動作の確認が終了したら、システムデータをPCにダウンロードして、システム設定は終了です。  
ダウンロードは60ページ「その他」を参照してください。





お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

**電話 (045) 450-8950 [代表]**

**FAX (045) 450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12 電話(045)443-3152